

第 8 期

八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の
令和 5 年度事業報告について

目 次

評価シート

第1章 いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組

～元気に生きがいをもって～

- 1 地域福祉活動等への参加促進・・・・・・・・・・ 7
- 2 介護予防の推進・・・・・・・・・・ 17
- 3 住まいの支援・・・・・・・・・・ 28

第2章 住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組

～地域の支援が必要になったら～

- 1 地域包括ケアシステムの推進・・・・・・・・・・ 34
- 2 地域で見守る高齢者支援体制の推進・・・・・・・・・・ 41
- 3 認知症総合施策の推進・・・・・・・・・・ 50
- 4 社会福祉協議会との連携・・・・・・・・・・ 59

第3章 介護保険サービスの充実に向けた取組

～介護が必要になったら～

- 1 介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進・・・・・・・・ 67

第4章 住み慣れたところで尊厳ある終末期を迎えるための取組

～いつまでも自分らしく～

- 1 在宅医療・介護の連携・・・・・・・・・・ 79

第 8 期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

評価シート結果

	順調	概ね順調	遅れ
評価	4 8	1 8	2

	現状のまま 継続	休止・廃止	終了・完了	見直して 継続	他事業と統 合して継続
今後の方向性	6 3	0	0	5	0

第 8 期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における「新規」「拡充」
「数値目標」

新規	3
拡充	6
数値目標	7

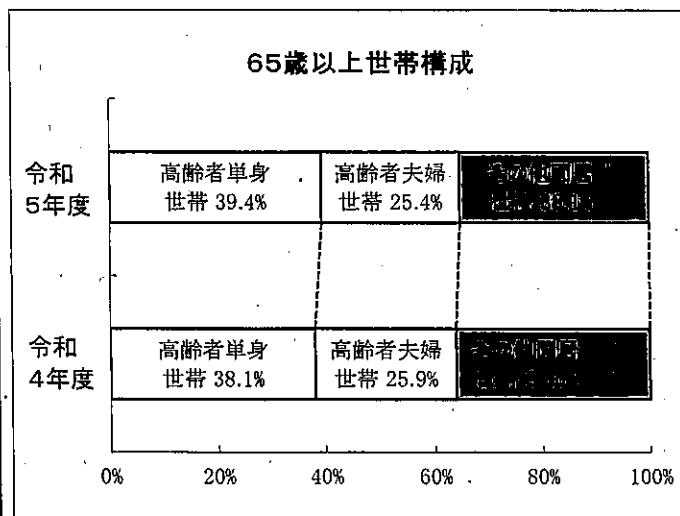
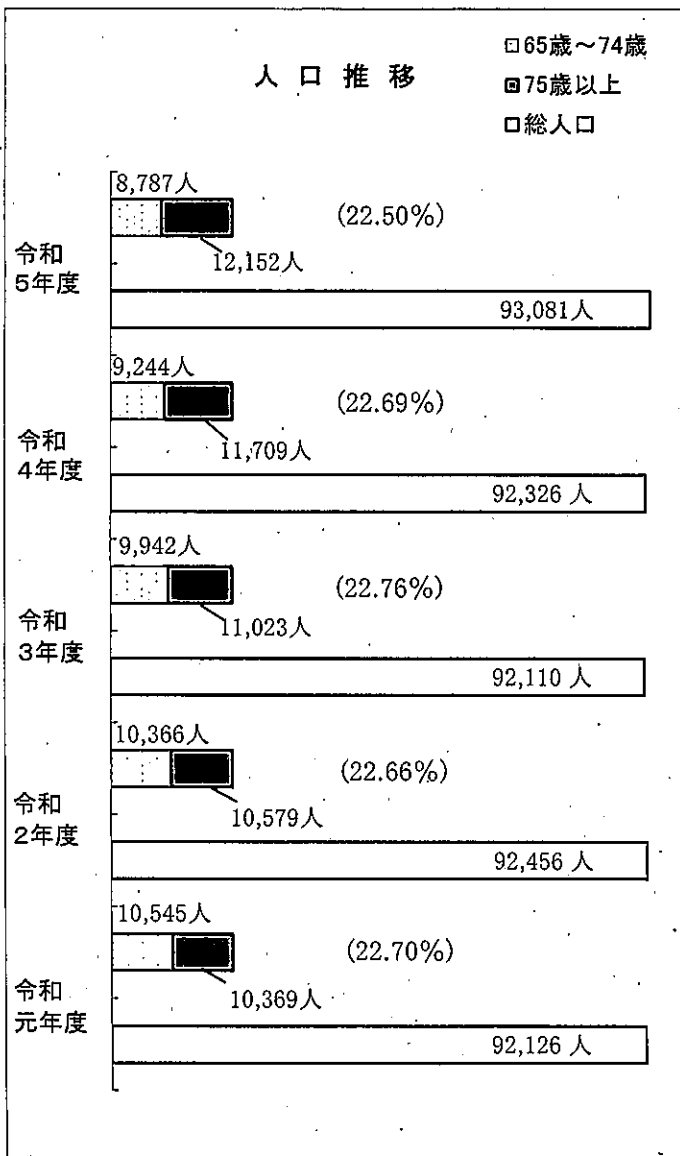
新規・拡充・数値目標

- 1 高齢者の憩いの場づくり **数値目標** 9 ページ
- 2 フレイルチェック事業 **拡充** 17 ページ
- 3 一般介護予防事業
(介護予防普及啓発事業) **数値目標** 20 ページ
- 4 一般介護予防事業
(介護支援ボランティア制度の実施) **数値目標** 23 ページ
- 5 地域ケア会議 **数値目標** 38 ページ
- 6 生活支援体制の充実 **拡充** 40 ページ
- 7 認知症等に関する啓発 **拡充** **数値目標** 50 ページ
- 8 認知症の早期発見・早期対応と介護者支援
(徘徊高齢者早期発見ネットワーク) **数値目標** 55 ページ
- 9 認知症の早期発見・早期対応と介護者支援
(徘徊高齢者の家族支援) **数値目標** 56 ページ
- 10 認知症の早期発見・早期対応と介護者支援
(認知症ケア相談室) **新規** 57 ページ
- 11 認知症バリアフリーの推進 **新規** 58 ページ
- 12 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) **拡充** 74 ページ
- 13 小規模多機能型居宅介護、
介護予防小規模多機能型居宅介護 **拡充** 75 ページ
- 14 感染症対策と災害時対応 **新規** 78 ページ
- 15 在宅医療・介護連携事業 **拡充** 79 ページ

人口及び要介護認定者数の推移

総人口	人数	令和5年度	93,081人
		令和4年度	92,326人
	前年同月増減率(%)	0.8%	
高齢者人口	人数	令和5年度	20,939人
		令和4年度	20,953人
	前年同月増減率(%)	-0.1%	
うち前期高齢者数	人数	令和5年度	8,787人
		令和4年度	9,244人
	前年同月増減率(%)	-4.9%	
うち後期高齢者数	人数	令和5年度	12,152人
		令和4年度	11,709人
	前年同月増減率(%)	3.8%	
高齢化率(%)		令和5年度	22.50
		令和4年度	22.69
うち前期高齢者(%)		令和5年度	9.41
		令和4年度	10.01
うち後期高齢者(%)		令和5年度	13.06
		令和4年度	12.68
総世帯数		令和5年度	46,217世帯
		令和4年度	45,150世帯
	前年同月増減率(%)	2.4%	
高齢者世帯		令和5年度	14,999世帯
		令和4年度	14,955世帯
うち高齢者単身世帯	世帯数	令和5年度	5,913世帯
		令和4年度	5,700世帯
	構成比	令和5年度	39.4%
うち高齢者夫婦世帯	世帯数	令和5年度	3,817世帯
		令和4年度	3,867世帯
	構成比	令和5年度	25.4%
うちその他同居世帯	世帯数	令和5年度	5,269世帯
		令和4年度	5,388世帯
	構成比	令和5年度	35.1%
		令和4年度	36.0%

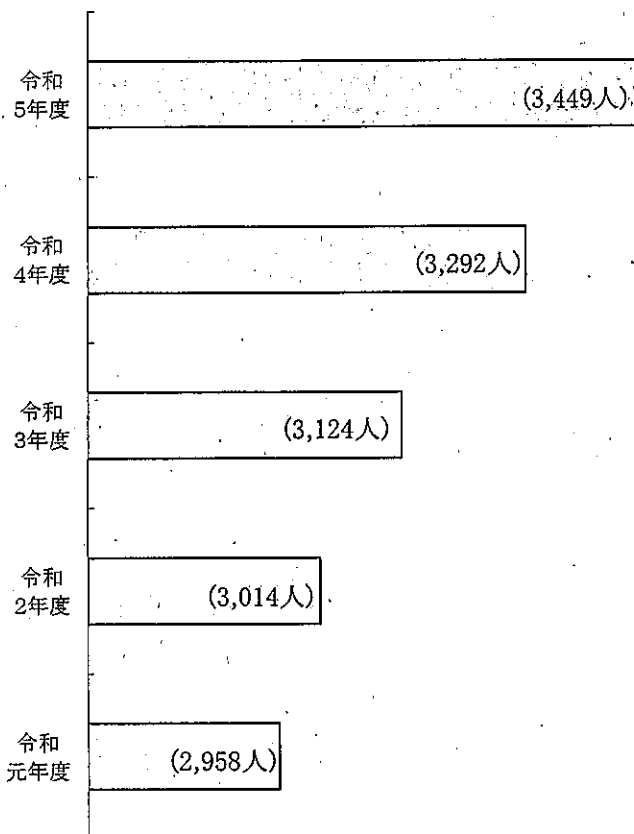
※人口数値は各年度3月1日現在



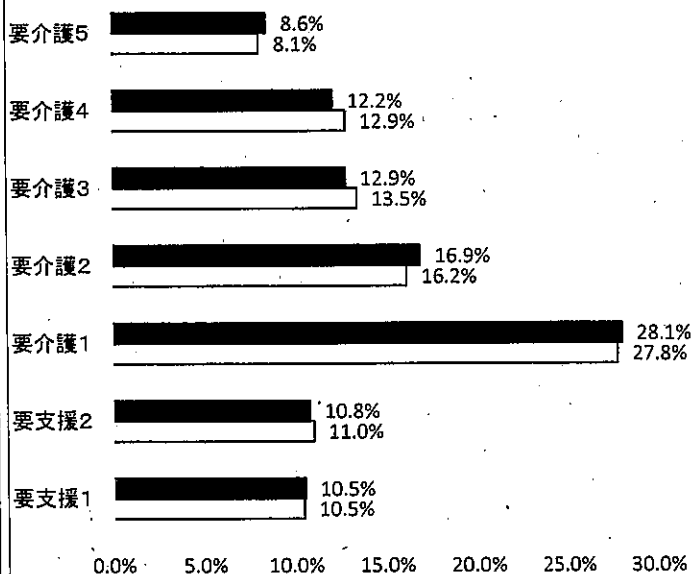
第1号被保険者	人数	令和5年度	20,939人	
		令和4年度	20,953人	
	前年同月増減率(%)		-0.1	
うち前期高齢者数	人数	令和5年度	8,787人	
		令和4年度	9,244人	
	前年同月増減率(%)		-4.9	
うち後期高齢者数	人数	令和5年度	12,152人	
		令和4年度	11,709人	
	前年同月増減率(%)		3.8	
第2号被保険者	人数	令和5年度	32,878人	
		令和4年度	32,516人	
	前年同月増減率(%)		1.1	
認定者総数	人数	令和5年度	3,449人	
		令和4年度	3,292人	
	前年同月増減率(%)		4.8	
認定率(第1号被保険者)	令和5年度	16.0%		
	令和4年度	15.2%		
前期高齢者認定者	人数	令和5年度	370人	
		令和4年度	394人	
	前年同月増減率(%)		-6.1	
認定率	令和5年度	4.2%		
	令和4年度	4.3%		
後期高齢者認定者	人数	令和5年度	2,975人	
		令和4年度	2,796人	
	前年同月増減率(%)		6.4	
認定率	令和5年度	24.5%		
	令和4年度	23.9%		
第2号被保険者認定者	人数	令和5年度	104人	
		令和4年度	102人	
	前年同月増減率(%)		2.0	
認定率	令和5年度	0.3%		
	令和4年度	0.3%		
要介護度別人数	要支援1	人数	令和5年度	363人
			令和4年度	344人
		前年同月増減率(%)		5.5
	要支援2	人数	令和5年度	373人
			令和4年度	363人
		前年同月増減率(%)		2.8
	要介護1	人数	令和5年度	968人
			令和4年度	916人
		前年同月増減率(%)		5.7
	要介護2	人数	令和5年度	584人
			令和4年度	533人
		前年同月増減率(%)		9.6
	要介護3	人数	令和5年度	445人
			令和4年度	444人
		前年同月増減率(%)		0.2
	要介護4	人数	令和5年度	421人
			令和4年度	424人
		前年同月増減率(%)		-0.7
	要介護5	人数	令和5年度	295人
			令和4年度	268人
		前年同月増減率(%)		10.1

認定者数推移

□ 認定者総数



要介護度別認定割合 ■ 令和5年度 □ 令和4年度



※要介護認定者人数：介護保険事業状況報告書(2月分報告書)より

※第1号被保険者人数、第2号被保険者人数：各年度3月1日現在人口ピラミッド

介護サービス量の実績

単位：回、人、%

区分		令和4年度			令和5年度		
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
(1) 居宅サービス	人数	64,776	66,991	103.4	67,344	71,948	106.8
① 訪問介護	回数	109,019	67,037	61.5	112,171	75,153	67.0
	人数	5,964	5,111	85.7	6,120	5,454	89.1
② 訪問入浴介護	回数	2,796	2,846	101.8	2,796	2,878	102.9
	人数	624	638	102.2	624	651	104.3
③ 訪問看護	回数	17,904	11,739	65.6	18,996	12,866	67.7
	人数	2,268	2,122	93.6	2,388	2,287	95.8
④ 訪問リハビリテーション	回数	19,643	10,652	54.2	20,293	11,750	57.9
	人数	1,476	1,726	116.9	1,512	1,939	128.2
⑤ 居宅療養管理指導	人数	6,864	13,715	199.8	7,248	14,920	205.8
⑥ 通所介護	回数	113,140	87,509	77.3	113,140	95,799	84.7
	人数	9,516	8,149	85.6	9,516	8,954	94.1
⑦ 通所リハビリテーション	回数	26,851	19,395	72.2	28,396	21,889	77.1
	人数	3,348	2,390	71.4	3,540	2,683	75.8
⑧ 短期入所生活介護	日数	23,233	21,630	93.1	23,233	20,530	88.4
	人数	1,788	1,668	93.3	1,788	1,556	87.0
⑨ 短期入所療養介護	日数	958	405	42.3	958	614	64.1
	人数	216	82	38.0	216	118	54.6
⑩ 特定施設入居者生活介護	人数	2,412	2,472	102.5	2,556	2,368	92.6
⑪ 福祉用具貸与	人数	11,772	11,508	97.8	12,288	12,401	100.9
⑫ 特定福祉用具販売	人数	264	213	80.7	264	222	84.1
⑬ 住宅改修費	人数	216	155	71.8	228	175	76.8
⑭ 居宅介護支援	人数	18,048	17,042	94.4	19,056	18,220	95.6
(2) 介護保険施設サービス	人数	5,436	5,115	94.1	6,060	5,416	89.4
① 介護老人福祉施設	人数	3,600	3,585	99.6	4,224	3,618	85.7
② 介護老人保健施設	人数	1,776	1,473	82.9	1,776	1,720	96.8
③ 介護療養型医療施設	人数	12	2	16.7	12	0	0.0
④ 介護医療院	人数	48	55	114.6	48	78	162.5
(3) 地域密着型サービス	人数	3,456	2,916	84.4	4,020	2,961	73.7
① 地域密着型通所介護	人数	1,392	1,148	82.5	1,476	1,245	84.3
② 小規模多機能型居宅介護	人数	912	651	71.4	1,380	643	46.6
③ 認知症対応型共同生活介護	人数	1,152	1,094	95.0	1,164	1,048	90.0
④ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人数	-	23	0.0	-	25	0.0
介護利用人数		73,668	75,022	101.8	77,424	80,325	103.7

介護予防サービス量の実績

単位：回、人、%

区分		令和4年度			令和5年度		
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
(1) 介護予防居宅サービス	人数	7,800	8,506	109.1	8,136	8,670	106.6
① 介護予防訪問介護	人数	0	0	0.0	0	0	0.0
② 介護予防訪問入浴介護	回数	0	0	0.0	0	2	0.0
	人数	0	0	0.0	0	7	0.0
③ 介護予防訪問看護	回数	1,236	1,334	107.9	1,304	1,393	106.8
	人数	240	347	144.6	252	354	140.5
④ 介護予防訪問リハビリテーション	回数	2,598	2,144	82.5	2,719	2,544	93.6
	人数	300	418	139.3	312	484	155.1
⑤ 介護予防居宅療養管理指導	人数	312	1,041	333.7	324	1,011	312.0
⑥ 介護予防通所介護	人数	0	0	0.0	0	0	0.0
⑦ 介護予防通所リハビリテーション	人数	696	347	49.9	720	339	47.1
⑧ 介護予防短期入所生活介護	回数	128	87	68.0	128	58	45.3
	人数	24	25	104.2	24	15	62.5
⑨ 介護予防短期入所療養介護	回数	0	31	0.0	0	18	0.0
	人数	0	3	0.0	0	3	0.0
⑩ 介護予防特定施設入居者生活介護	人数	180	240	133.3	192	262	136.5
⑪ 介護予防福祉用具貸与	人数	2,520	2,706	107.4	2,592	2,749	106.1
⑫ 特定介護予防福祉用具販売	人数	48	45	93.8	48	49	102.1
⑬ 介護予防住宅改修費	人数	84	53	63.1	84	50	59.5
⑭ 介護予防支援	人数	3,396	3,281	96.6	3,588	3,347	93.3
(2) 地域密着型介護予防サービス	人数	24	22	91.7	24	34	141.7
① 介護予防地域密着型通所介護	人数	0	0	0.0	0	0	0.0
② 介護予防小規模多機能型居宅介護	人数	12	18	150.0	12	34	283.3
③ 介護予防認知症対応型共同生活介護	人数	12	4	33.3	12	0	0.0
介護予防利用人数		7,824	8,528	109.0	8,160	8,704	106.7

介護給付費・介護予防給付費の実績

単位：円、％

介護区分	令和4年度			令和5年度		
	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
(1) 居宅サービス	2,851,005,000	2,572,994,320	90.2	2,935,557,000	2,782,839,739	94.8
① 訪問介護	327,845,000	320,234,831	97.7	337,312,000	380,873,418	112.9
② 訪問入浴介護	35,057,000	35,943,121	102.5	35,057,000	36,326,060	103.6
③ 訪問看護	101,367,000	90,149,098	88.9	107,645,000	98,546,921	91.5
④ 訪問リハビリテーション	60,099,000	69,546,995	115.7	62,089,000	75,877,107	122.2
⑤ 居宅療養管理指導	89,146,000	99,886,056	112.0	94,126,000	110,153,612	117.0
⑥ 通所介護	912,642,000	710,219,178	77.8	912,642,000	793,881,544	87.0
⑦ 通所リハビリテーション	218,414,000	163,804,559	75.0	230,975,000	183,354,708	79.4
⑧ 短期入所生活介護	192,385,000	184,100,122	95.7	192,385,000	179,075,356	93.1
⑨ 短期入所療養介護	12,272,000	4,836,238	39.4	12,272,000	7,408,978	60.4
⑩ 特定施設入居者生活介護	449,771,000	463,770,367	103.1	476,034,000	455,436,657	95.7
⑪ 福祉用具貸与	162,809,000	159,411,005	97.9	169,855,000	174,508,399	102.7
⑫ 特定福祉用具販売	6,351,000	6,127,777	96.5	6,351,000	7,032,212	110.7
⑬ 住宅改修費	23,890,000	15,018,681	62.9	25,401,000	16,066,814	63.3
⑭ 居宅介護支援	258,957,000	249,946,292	96.5	273,413,000	264,297,953	96.7
(2) 施設サービス	1,529,949,000	1,446,067,322	94.5	1,695,080,000	1,559,916,635	92.0
① 介護老人福祉施設	953,473,000	960,116,428	100.7	1,118,604,000	979,034,358	87.5
② 介護老人保健施設	552,689,000	463,955,105	83.9	552,689,000	549,255,225	99.4
③ 介護療養型医療施設	4,585,000	458,258	10.0	4,585,000	0	0.0
④ 介護医療院	19,202,000	21,537,531	112.2	19,202,000	31,627,052	164.7
(3) 地域密着型サービス	560,858,000	486,284,841	86.7	664,632,000	481,877,434	72.5
① 地域密着型通所介護	87,789,000	65,301,999	74.4	94,381,000	65,942,725	69.9
② 小規模多機能型居宅介護	180,613,000	134,415,276	74.4	274,517,000	137,681,160	50.2
③ 認知症対応型共同生活介護	292,456,000	284,315,159	97.2	295,734,000	275,624,379	93.2
④ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	2,252,407	0.0	0	2,629,170	0.0
介護給付費計	4,941,812,000	4,505,346,483	91.2	5,295,269,000	4,824,633,808	91.1

介護予防区分	令和4年度			令和5年度		
	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
(1) 介護予防居宅サービス	94,592,000	95,135,316	100.6	98,189,000	99,120,875	100.9
① 介護予防訪問介護	-	0	0.0	-	0	0.0
② 介護予防訪問入浴介護	-	0	0.0	-	60,007	0.0
③ 介護予防訪問看護	5,778,000	8,176,914	141.5	6,103,000	8,547,147	140.0
④ 介護予防訪問リハビリテーション	7,845,000	12,715,860	162.1	8,207,000	14,969,940	182.4
⑤ 介護予防居宅療養管理指導	3,743,000	7,209,114	192.6	3,872,000	7,113,461	183.7
⑥ 介護予防通所介護	-	0	0.0	-	0	0.0
⑦ 介護予防通所リハビリテーション	23,805,000	12,496,066	52.5	24,581,000	13,063,372	53.1
⑧ 介護予防短期入所生活介護	799,000	552,894	69.2	799,000	379,914	47.5
⑨ 介護予防短期入所療養介護	-	195,406	0.0	-	146,677	0.0
⑩ 介護予防特定施設入居者生活介護	13,989,000	18,246,993	130.4	14,727,000	18,624,625	126.5
⑪ 介護予防福祉用具貸与	12,481,000	13,980,039	112.0	12,859,000	14,294,312	111.2
⑫ 特定介護予防福祉用具販売	1,520,000	899,548	59.2	1,520,000	1,102,027	72.5
⑬ 介護予防住宅改修	8,913,000	5,339,835	59.9	8,913,000	5,179,049	58.1
⑭ 介護予防支援	15,719,000	15,322,647	97.5	16,608,000	15,640,344	94.2
(2) 地域密着型介護予防サービス	3,621,000	2,380,223	65.7	3,621,000	2,954,542	81.6
① 介護予防地域密着型通所介護	-	0	0.0	-	0	0.0
② 介護予防小規模多機能型居宅介護	1,204,000	1,576,815	131.0	1,204,000	2,954,542	245.4
③ 介護予防認知症対応型共同生活介護	2,417,000	803,408	33.2	2,417,000	0	0.0
予防給付費計	98,213,000	97,515,539	99.3	101,810,000	102,075,417	100.3

総給付費	5,040,025,000	4,602,862,022	91.3	5,397,079,000	4,926,709,225	91.3
------	---------------	---------------	------	---------------	---------------	------

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	59
	施策の展開	1	地域福祉活動等への参加促進		
	主な取り組み	(1)	地域交流の促進		
	取り組みの方向性		高齢者の心身の健康を維持・増進し、社会参加を促すために、スポーツ・レクリエーション活動などを通じて、幅広い世代間の交流を図ります。 また、ひとり暮らし高齢者等が年々増加する中、地域との関係が希薄となり、高齢者の孤立化が問題となっていることから、小中学校など関係団体等と協働し、ひとり暮らし高齢者等と児童生徒が食事を共にしながら交流を図る「ふれあい共食」を推進することで、世代間交流等の機会を提供します。		

【取り組みの実施状況】

① 高齢者と障がい者のスポーツの祭典

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

② ふれあい共食

新型コロナウイルス感染拡大防止のため小中学校での開催が困難となり、中止しました。

評価	☐ 順調	☐ 概ね順調	☒ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を実施することができなかったため。
概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）				
遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				

【取り組みの課題】

ふれあい共食について、コロナ禍では感染症対策をした上での会食、または他の方法での世代間交流などが困難なため、このような状況下でも交流が図れる方法を検討する必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

コロナ禍においても高齢者が孤立せず、世代間交流や生きがいづくりが図れる方法等について検討します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	60
	施策の展開	1	地域福祉活動等への参加促進		
	主な取り組み	(2)	老人福祉センター事業		
	取り組みの方向性		高齢者の生きがいづくりや憩いの場、交流の場として、60歳以上の方を対象に教養の向上やレクリエーション、健康に関する相談および入浴サービス等を実施している「寿楽荘」、「すえひろ荘」の各老人福祉センターの利用促進を図るとともに、趣味の教室や八潮市寿大学校などの各事業の充実を図ります。 また、老人福祉センターは、高齢者の活動拠点であるため、多くの高齢者が気軽に利用し、様々なニーズに対応することができるよう、指定管理者による自主的な施設運営を促進します。 さらに、寿楽荘は、令和8（2026）年で耐用年数に到達するため、老朽化や機能強化への対応などについて、高齢者のニーズを踏まえて検討します。		

【取り組みの実施状況】

令和5年度の利用者数は、寿楽荘で延べ 8,166 人、すえひろ荘で延べ 4,665 人でした。そのうちお風呂利用者数は、寿楽荘で延べ 5,214 人、すえひろ荘で延べ 1,649 人でした。

嘱託医による健康相談及び看護師による保健指導は、寿楽荘で 48 日開催し、利用者数は延べ 516 人、すえひろ荘で 48 日開催し、利用者数は延べ 436 人でした。

ヨガ教室をすえひろ荘で6回開催し、利用者数は48人でした。

書道教室を寿楽荘で23回開催し、利用者数は延べ100人でした。

利用者からのアンケート結果について、総合評価は寿楽荘、すえひろ荘ともに満足との回答が多数でした。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				昨年度と比較し、利用者数が増加したため。

【取り組みの課題】

老人福祉センターの利用促進を図るため、介護予防への取組みを強化するなど、市民ニーズに対応した事業展開が求められています。また、施設の老朽化により施設修繕等の対応が必要となっています。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

教養の向上やレクリエーション、入浴サービス等の利用促進を図るとともに、高齢者の様々なニーズに対応することができるよう、今後も、指定管理者による自主的な施設運営を促進します。

施設の老朽化や機能強化などへの対応について、引き続き検討していきます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	60
	施策の展開	1	地域福祉活動等への参加促進		
	主な取り組み	(3)	高齢者の憩いの場づくり		
	取り組みの方向性	ひとり暮らし高齢者が増加する中で、地域における社会的孤立を防止することは、心身の健康維持や介護予防につながります。そのため、地域で高齢者が気軽に集い、仲間づくりや世代間交流等ができる憩いの場として、空き家等を活用した「高齢者ふれあいの家」の開設者を支援します。			

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設か所数（か所）	8	5	6	8
	4	5	7	9

【取り組みの実施状況】

生活支援コーディネーターと連携し、高齢者ふれあいの家の開設に興味を持っている方に、事業の趣旨や助成の内容について説明を行い、令和5年度は新たに2か所開設され、9か所となりました。

設置場所	運営実績（令和5年度）
①たんぽぽカフェ（八條2835番地15） 毎週火曜（13～15時）、木曜（10～15時）	年96回（参加者638人）平均7人
②カフェしおどめ（シルバー人材センター内） 毎週月曜・水曜（13～16時）	年94回（参加者108人）平均1人
③パルコカフェ（緑町2丁目25番地19） 毎週木曜（13時半～15時半）	年42回（参加者473人）平均11人
④ふれあいの家の茶乃間（中央1丁目5番地13） 毎週水曜・金曜（13～15時）	年99回（参加者12人）平均1人
⑤ふれんど（大曽根452番地5） 毎週火曜・金曜（10～12時）	年78回（参加者445人）平均6人
⑥ばあ～ばの家（八潮6丁目8番地12） 毎週月曜・木曜（10～12時）	年107回（参加者1199人）平均11人
⑦こうゆう（圀17番地） 毎週金曜（14～16時）	年42回（参加者341人）平均8人
⑧よりそい処H2O（中央4丁目1番地13イトー寿薬局内） 毎週水曜（10時～12時）	※令和6年3月開設
⑨よりそい処H2O南後谷（南後谷754番地12ハナ薬局内） 毎週水曜（14時～16時）	※令和6年3月開設
合 計	年558回（参加者3,217人）平均6人

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				開設か所数が目標値を超えたため。
【取り組みの課題】 開設数は目標値を超えていますが、参加者の増加につながっていません。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 生活支援コーディネーターと連携し、各協議体の場を活用して、サロンやカフェ等の高齢者の集いの場の開設に興味を持っている方へ、事業の趣旨や助成の内容等について説明を行います。 また、高齢者ふれあいの家の新規開設に向けて効果的なものとなるよう、市広報紙への掲載や市民向けの講演会やフォーラム等で事業周知を行なうとともに、チラシやホームページの内容について随時見直します。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	61
	施策の展開	1	地域福祉活動等への参加促進		
	主な取り組み	(4)	各種団体への支援 ①八潮市シルバー人材センター		
	取り組みの方向性		八潮市シルバー人材センターは、社会参加や生きがいづくりを希望する働く意欲のある高齢者を対象に、短期的な就業や一般労働者派遣等の機会を組織的に提供しています。 活力ある高齢者が地域活動の担い手、支え手となるよう、八潮市シルバー人材センターが果たす役割は、今後ますます重要となり、新しい職種の開拓や地域に密着した就業機会の提供により、会員の増加や交流の機会など、シルバー人材センター活動の充実が求められています。高齢者の社会参加の促進を図るため、八潮市シルバー人材センターの安定した運営を支援します。		

【取り組みの実施状況】

令和5年度の八潮市シルバー人材センター会員数は474人と、令和4年度の506人と比べて32人減少しています。

令和元年度から会員拡大のため、各種広告の掲載、新聞折込やポスティングによる会員募集チラシの配布、公共施設へのリーフレットの配布等の普及啓発を行っており、令和5年度も引き続き実施しました。

令和5年度の受注件数は1,210件と、令和4年度の1,330件と比べて120件減少しています。

令和4年度と比較して、個人からの受託件数では、駐車場管理、屋内清掃作業、家事援助サービスなどが増加しています。

就業を通しての社会参加や生きがいづくりを希望する働く意思のある高齢者に対し、シルバー人材センターを通じて就業支援を実施しました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				会員拡大のための普及啓発を行ったが、会員数は令和4年度より減少しているため。

【取り組みの課題】

受注件数及び会員数が減少したことが課題です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

会員拡大を推進するため、今後も、新聞の折り込みチラシや電柱広告等、会員拡大の取組を行うとともに、新しい職種の開拓や地域に密着した就業機会の提供により、働く意欲のある高齢者の社会参加の促進を図り、八潮市シルバー人材センターの安定した運営を支援します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	61
	施策の展開	1	地域福祉活動等への参加促進		
	主な取り組み	(4)	各種団体への支援 ②八潮市老人クラブ連合会（きらめきクラブ八潮）		
	取り組みの方向性		八潮市老人クラブ連合会（きらめきクラブ八潮）は、地域の高齢者が自ら行う社会参加や生きがいづくり活動を通じ、高齢者が地域社会を支える役割を担っています。 ・地域を単位とする各クラブにおける趣味やスポーツによる健康づくりなどの自主的な活動や、地域での社会活動をはじめ、各クラブにおける事業活動の充実や活性化が図れるよう、ボランティア団体や社会福祉協議会等と連携し、活動を支援します。		

【取り組みの実施状況】

令和5年度老人クラブ数 31 団体、会員 1,359 人（対前年度：△34 人）

事業の実施状況

① 草加・八潮交流ゲートボール大会

令和5年6月24日に開催し、参加数6チーム（うち八潮3チーム）、八潮の参加人数は15人でした。

② 八潮市グラウンドゴルフ大会

第36回は令和5年5月11日に開催し、参加数18団体、参加人数は91人でした。

第37回は令和5年9月14日に開催し、参加数19団体、参加人数は88人でした。

③ 素人演芸大会

昨年度に引き続き、従来のエイトアリーナでの開催はできませんでしたが、「カラオケ大会」に変更して寿楽荘で2回開催し、参加人数は延べ170人でした。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				昨年度から新型コロナウイルスの影響で中止していた事業を再開し、参加者数も徐々に戻りつつあるものの、会員数自体は減少しているため。

【取り組みの課題】

老人クラブの団体数及び会員数がともに減少しており、高齢者のニーズが多様化している中で、各老人クラブにおける活動の充実や魅力ある組織づくりが必要となっています。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

各老人クラブにおける趣味やスポーツによる健康づくりなどの自主的な活動や、地域での社会活動などの充実や活性化が図れるよう、社会福祉協議会等と連携して活動を支援します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	61
	施策の展開	1	地域福祉活動等への参加促進		
	主な取り組み	(5)	長寿祝金支給事業		
	取り組みの方向性	多年にわたり社会に貢献してきた高齢者に敬愛を示し、節目の年（80歳・88歳・100歳）に祝金を支給する「長寿祝金支給事業」について、継続実施します。			

【取り組みの実施状況】

八潮市長寿祝金給付条例に基づき、次のとおり長寿祝金を支給しました。（基準日 毎年9月15日）

区 分	1人あたり支給額	支給人数	支給額
満80歳	10,000円	1,033人	10,330,000円
満88歳	20,000円	419人	8,380,000円
満100歳	50,000円	10人	500,000円
過年度分 満77歳	5,000円	人	円
過年度分 満80歳	10,000円	人	円
過年度分 満88歳	20,000円	人	円
合 計		1,462人	19,210,000円

令和5年度の対象人数は1,481人、支給人数は1,462人で支給率は98.7%でした。

なお、令和元年度から給付対象年齢（77歳、90歳、99歳、100歳以上の4区分を削除）を見直した上で、継続実施しています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				対象の方に祝金を支給できているため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

高齢者を敬愛し、節目の年に祝金を給付する事業については、今後も継続して実施します。

また、平均寿命の延伸に伴い、今後改めて給付対象年齢を見直すことも検討します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	健康増進課	記入者	保健医療係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	62
	施策の展開	1	地域福祉活動等への参加促進		
	主な取り組み	(6)	健康づくり事業〈保健センター〉 ①健康づくりと介護予防の総合的・一体的な提供		
	取り組みの方向性		健康寿命の延伸に向けた取組の効果的な展開のためには、若いときから生活習慣病予防を重点とした健康づくりと介護予防等を総合的・一体的に進めることが必要であることから、令和5年度までを計画期間とする第2次八潮市健康づくり行動計画を踏まえて、市民が自分の健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるよう、年代や身体状況に応じた健康づくり事業を実施します。 特に後期高齢者については、複数疾患の合併や加齢に伴う「フレイル」、認知症の進行等、健康上の課題が大きくなるため、高齢者の特性や地域の健康課題を踏まえ、地域での活動や医療、介護等のサービスを適切につなげ、必要な保健指導等の健康支援を行うなど、関係課等と連携して「保健事業と介護予防を一体的」に実施します。 a 健康づくり事業 各種健康講座や健康づくり懇話会を実施するとともに、健康づくりに主体的に取り組むことができるよう「健康マイレージ事業」を実施します。 b 各種健診（検診）の実施と受診勧奨 胃がん、肺がんなどの各種がん検診や骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検診などを実施します。 また、がん検診の受診率向上のため、受診勧奨通知を発送します。 c 専門職による健康相談の実施 保健師や栄養士による健康相談会を実施するとともに、電話や来所による健康相談・栄養相談を随時実施します。 d 健康づくりに関する知識の普及啓発や情報発信 健康づくりに関する知識の普及啓発および各種事業の利用促進を図るため、広報やしお、八潮市公式ホームページおよび、やしお840メール配信サービス等により、健康情報や各種事業内容等について発信します。		

【取り組みの実施状況】

市民が身近なところで気軽に健康づくりができるよう、以下の事業等を実施しました。

- a 体力づくり講座（2回実施）をエイトアリーナ、保健センターで実施し、延べ71人参加しました。また、ウォーキング講習会（3回実施）を実施し延べ83人参加しました。

地域の事情に合わせた健康づくり事業を実施するため、町会・自治会単位の健康づくり懇話会をこれまでに18ヶ所設置しました。令和5年度の健康づくり懇話会は、新規1ヶ所、継続1ヶ所で実施しました。

埼玉県が進める「健康長寿埼玉プロジェクト」の一環として、健康長寿サポーター養成講座を実施し、71人のサポーターを養成しました。

平成30年度から開始した「コバトン健康マイレージ事業」は、令和元年度より「八潮市ハッピーこまちゃん健康マイレージ」に名称を改め、市独自のポイントを設定し、市の特産品等が当たる仕組みを導入しました。令和5年度12月末現在で延べ1,959人の申し込みがありましたが、県の事業見直しを受けて令和5年度をもって事業を終了とし、令和6年度から新規健康増進事業「コバトン ALK00 マイレージ」を実施します。

- b 胃がん（バリウム・胃内視鏡検査）、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検診を実施しました。

また、20代・30代を対象としたヘルシーチェック（健診）を実施しました。

がん検診の受診率向上のため、全ての検診等について、対象者に受診勧奨通知を発送しました。

- c 健診（検診）結果の個別説明と併せた健康相談として重点健康相談を 165 人に実施しました。
- d 健康情報や各種事業内容等について、市の広報誌やホームページ等への掲載による発信を行いました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				各種健康講座や健康長寿サポーターの養成、健康マイレージ事業等を実施し、市民の主体的な健康づくりに向けた働きかけが行えているため。
【取り組みの課題】 今後は、様々な世代が健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組んでもらうため、事業の周知方法や事業展開などの工夫が必要であると考えられます。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 国の「健康日本21（第2次計画）」の計画期間の延長により、第2次健康づくり行動計画の計画期間も1年延長し令和6年度までとし、引き続き、健康づくり事業を実施します。 八潮市ハッピーこまちゃん健康マイレージについては、埼玉県の実業見直しを受けて令和6年度より「コバトン ALK00マイレージ」に移行します。検診やイベント等を行う際に新規加入の呼びかけを積極的に行います。 健康づくりに関する知識の普及啓発として、各種講座や広報紙等における健康情報の発信を行います。 事業の周知及び利用しやすい体制づくりとして、市の広報誌やホームページへの掲載、840メール配信サービス等により、事業の周知を図ると共に、市民の健康ニーズを見極めた事業展開を検討します。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	健康増進課	記入者	成人保健担当
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	63
	施策の展開	1	地域福祉活動等への参加促進		
	主な取り組み	(6)	健康づくり事業〈保健センター〉 ②こころの健康づくりに向けた事業		
	取り組みの方向性		こころの健康状態は、うつ病等の精神疾患を引き起こすだけでなく身体にも影響を及ぼし、高齢者にとっては生活機能の低下や栄養状態の悪化を招くなど要介護状態につながる可能性があることから、こころの健康について正しい知識の普及・啓発に努めます。 a 専門職による「こころの健康相談」および個別相談の実施 精神科医による「こころの健康相談」を実施するとともに、保健師による個別相談を実施します。 b 「こころの健康講座」の開催 「こころの健康講座」を開催するとともに、広報やしお、八潮市公式ホームページおよび、やしお840メール配信サービス等により、こころの健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を図ります。 c 専門職や関係機関との連携 個別事例等に対しては、地域包括支援センターや生活支援センターなど、関係機関との連携を図り、適切な取り組みの推進を図ります。		

【取り組みの実施状況】

- a 精神科医による「こころの健康相談」は5回実施し、実施者は7人でした。医師による見立て助言を行いました。保健師による訪問は延15人に実施し、随時電話相談も行いました。
- b こころの健康講座は、2回実施し、45人参加しました。
- c 個別事例等に対して、関係機関との連携を随時行っています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				必要時、医師や保健師との個別相談や訪問、電話相談を実施しているため。また、講座の開催により広くこころの健康について啓発が行えているため。

【取り組みの課題】

こころの悩みは相談しにくく、抱え込みやすいため、広く周知し、情報提供を行い、適切な相談機関へつなげることが必要です。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

適宜、実施方法等は見直しを行いながら、必要な方に支援が行えるよう個別相談及び講演会等を実施します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	64
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(1)	フレイルチェック事業		
	取り組みの方向性		加齢による筋力、認知機能、社会とのつながりの低下により引き起こされる虚弱な状態を早期に発見し、健康な状態を取り戻すため、県内初となる「フレイルチェック測定会」を実施し、高齢者が自らの健康状態に気づき、「栄養・運動・社会参加」など日ごろの生活を見直せるよう、フレイル予防に取り組みます。 【目的】 ①多くの高齢者が自らの健康状態を知る 自分の体力や筋力などを測定し、自らの健康状態をチェックすることで、フレイル予防への気づきを促し、行動変容を促進する。 ②介護予防の強化 介護予防（体操）教室などに通い、健康を意識している方にも定期的に測定し、個々の測定データに基づくフォローアップを行うことで介護予防の強化を促す。 ③フレイルサポーターとしての活躍の場 フレイルサポーター（地域のフレイル予防応援ボランティア）を養成し地域での活躍の場につなげる。フレイルチェック測定会の開催にあたっては、フレイルサポーターに活動していただくことにより、市民の健康寿命の延伸やフレイル予防に役立つよう取り組みます。 また、フレイルチェック測定会の参加者については、健康に関心と思われる方へのアプローチができるよう、実施している「KDBシステム」のより効果的な活用を検討します。		

【取り組みの実施状況】

令和2年度から本格的に「東京大学高齢社会総合研究機構」が開発したプログラムに基づくフレイルチェック事業を開始しました。令和5年度は、8名のフレイルサポーター4期生を養成し、フレイルサポーターを主体としたフレイルチェック測定会を毎月1回開催しました。令和5年度は、計12回の開催で119人が参加しました。測定会では、健康状態の確認や専用機器を用いた測定、座学を行い、自らの健康状態への気づきと行動変容につなげるプログラムを実施しました。

また、2回目以上の参加者に対して「フレイルチェック測定会リピーターの日」を2回開催し17人が参加しました。リピーター向けの測定会では、毎月開催している測定会の測定項目に歩行速度等の測定を加えたり、前回の測定結果やこれまでの取組を振り返り今後につなげる内容を取り入れました。

さらに、フレイルのリスクが高い方を「KDBシステム」から80人を抽出し、地域包括支援センターと連携してフレイルチェック測定会への参加を促したり、測定結果から経過観察が必要な方に関しては定期的にフォローするなどの取組を行いました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				毎月1回定期的にフレイルチェック測定会を開催するとともにフレイルのリスクが高い方に対する支援の流れを構築して事業を展開しているため。また、フレイルサポーターによるフレイル予防活動が軌道にのり始めたため。
【取り組みの課題】 フレイルのリスクが高い方にフレイルチェック測定会へ参加してもらい、気づきや行動変容につながる人を増やす必要があります。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

より多くの高齢者に自らの健康状態を知ってもらうため、引き続きフレイルチェック測定会やリピーター向けフレイルチェック測定会を定期的に開催し、その周知に努めます。

また、参加者の行動変容を促すため、介護予防に関する情報提供や地域包括支援センターとの連携を継続します。

フレイルチェック測定会の参加者等が、更に知識を深め、継続した取り組みが行えるよう、フレイル予防に特化したフレイル予防教室を令和6年度から開催します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	67
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(2)	一般介護予防事業 ①介護予防把握事業		
	取り組みの方向性		地域の実情に応じて収集した情報や、地域包括支援センターとの連携により、閉じこもり等の何らかの支援を要する方を把握し、介護予防活動につなげます。		

【取り組みの実施状況】

地域包括支援センターと連携して何らかの支援を必要とする方を把握し、介護予防活動につなげるよう随時支援を行いました。

地域包括支援センターが新たに把握した件数は、688件でした。また、令和5年度のフレイルチェック測定会参加者について、フレイルのリスクが高いと判定された方29人を要観察者として、地域包括支援センターが支援を行いました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				地域包括支援センターとの連携により、随時、支援を必要とする方を介護予防活動につなげていることに加え、フレイルチェック測定後の要観察者を把握し、継続した支援を行っているため。
【取り組みの課題】 特にありません。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
【今後の対応】 今後も、地域包括支援センターと連携し、KDBなどのデータを活用しながらフレイルのリスクが高い方など何らかの支援を必要とする方を把握し、介護予防活動につなげられるよう努めていきます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	67
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(2)	一般介護予防事業 ②介護予防普及啓発事業		
	取り組みの方向性		介護予防に関する基本的な知識を普及・啓発するために、パンフレットの作成・配布、講演会や相談会の実施および介護予防の観点から効果が認められる運動および栄養指導等を行う「介護予防教室」を開催します。 また、女性を対象にした骨折を予防する教室を開催し、介護が必要になる原因の低減を目指します。 さらに、フレイルチェック事業を拡充することで、介護予防の強化を図ります。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
体操教室参加者数 (人)	783	800	840	880
	335	349	337	324

【取り組みの実施状況】

介護予防の普及啓発に関する講演会や、相談会、運動や栄養、口腔機能向上のための介護予防教室を実施しました。介護予防普及啓発事業の実施回数は553回、参加者の延べ人数は12,565人でした。このうち、女性を対象にした骨折を予防する教室「ころばん介護予防教室」は28回実施し、延128人が参加しました。

介護予防教室及び八潮いきいき体操参加者に介護予防手帳を配布し、介護予防のための目標設定や活動の記録等を行うことで、自主的な介護予防活動を促しました。令和5年度は833人に配布しました。

フレイルチェックについては、継続して実施している簡易チェックを体操教室（令和5年下半期コース）の参加者438人、八潮いきいき体操の各会場において、理学療法士派遣時に277人に対して実施しました。

生涯学習まちづくり出前講座のメニューに掲載のある「フレイル予防について」では、2件の依頼がありました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体操教室の一部を中止したことや外出自粛により参加者数は伸びなかったが、フレイルの日イベントの開催、フレイルサポーターの養成、フレイルチェック測定会の開催など、コロナ禍においてもフレイル予防事業を開催することができたため。

【取り組みの課題】

介護予防教室においては、効果的な実施方法の検討や新規の参加者が少ないため、引き続き介護予防の重要性について市民へ周知が必要です。

また、介護予防教室だけでなく自主的な介護予防活動の促進につなげることや、フレイル予防に関心を持ち自らの介護予防に積極的に取り組んでもらう普及啓発が必要です。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

介護予防の重要性について高齢者などへ周知を図っていきます。また、介護予防手帳の中の、1日8種類の活動を毎日取り組めるような資料の継続や介護予防事業以外のボランティア活動、シルバー人材センター等の事業を掲載することで、自主的な介護予防の取り組みを促します。

また、介護予防教室の参加者に対して実施している「フレイルチェック（簡易チェック）」について、引き続き実施します。現行の体操教室とは別に、フレイルの改善を目的とした、運動・栄養・口腔を一体化した教室の開催を目指し、より介護予防とフレイル予防のつながりを強めます。

フレイルチェック測定会を毎月開催し、体操教室等に参加していない方に対しても、自らの状態に気づき、フレイル予防へつながられる機会を提供します。また、年2回のフレイルチェック測定会リピーターの日を開催することで、自らの健康状態の変化への気づきを促します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	68
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(2)	一般介護予防事業 ③地域介護予防活動支援事業		
	取り組みの方向性		町会・自治会や有志が集い、「八潮いきいき体操（通いの場）」を実施している会場に、専門職（管理栄養士、歯科衛生士）を派遣することで、より効果的な介護予防に取り組めるよう支援します。 また、八潮いきいき体操に関するボランティア等の人材育成のため、「八潮いきいき体操リーダー養成講座」を実施します。		

【取り組みの実施状況】

八潮いきいき体操を実施する団体に、管理栄養士を24団体に合計24回、歯科衛生士を24団体に合計24回派遣しました。

八潮いきいき体操リーダー連絡会を2回開催し、リーダーとともに八潮いきいき体操の課題や八潮いきいき体操交流会の内容について検討を行いました。

八潮いきいき体操を休止している団体がまだあることから、「八潮いきいき体操リーダー養成講座」は実施しませんでした。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を再開できていない団体があるが、八潮いきいき体操リーダー連絡会において、リーダーとともに課題等の解決に向けて検討を進めているため。

【取り組みの課題】

専門職の派遣については、団体ごとの希望により実施していますが、派遣を希望しない団体もあり、介護予防における栄養・口腔の重要性の周知や各団体のニーズに合った派遣を行うための検討が必要です。

また、参加者の減少や高齢化が進んでいる会場があるため、八潮いきいき体操についてさらに市民へ周知するとともに、各団体で新たな参加者の募集について検討する必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、八潮いきいき体操がより身体機能の維持向上等に効果的なものとなり、継続して行えるよう、八潮いきいき体操リーダー連絡会の開催などを通して課題への対応を進めていきます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	68
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(2)	一般介護予防事業 ④地域リハビリテーション活動支援事業		
	取り組みの方向性	八潮いこい体操を実施している会場に専門職（理学療法士）を派遣することで、より効果的な介護予防に取り組めるよう支援します。			

【取り組みの実施状況】

八潮いこい体操を実施する団体に理学療法士を 26 団体に合計 26 回派遣し、フレイルチェック（簡易チェック）の実施や運動の効果、体操の実践について指導を行いました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				理学療法士を派遣し、フレイルチェック及びフレイルを予防する運動の指導を実施し、介護予防につなげることができたため。
【取り組みの課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 八潮いこい体操において、指導内容等がより効果的なものになるよう、リハビリ専門職の意見を踏まえ、実施します。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係、地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	68
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(2)	一般介護予防事業 ⑤介護支援ボランティア制度の実施		
	取り組みの方向性		高齢者が社会参加や地域貢献をしながら、自らの介護予防に積極的に取り組むことを目的として、65歳以上の方がオレンジカフェやフレイルチェック測定会など市の事業や介護施設等においてボランティア活動をする「介護支援ボランティア制度」を実施します。 また、この制度の実施を踏まえて高齢者が地域支援事業の担い手となるよう、新たな活躍の場を検討します。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録人数（人）	110	100	100	100
	70	49	53	82
受入施設数（か所）	26	27	27	27
	26	25	25	25
フレイルチェック 測定会（回）	—	12	12	12
	—	10	12	12
オレンジカフェ（回）	48	48	48	48
	23	31	39	48

【取り組みの実施状況】

令和5年度末時点でボランティア受入施設は25か所でボランティア登録人数は82人でした。

また、令和5年度に活動したボランティアのうち、ボランティアポイントを換金したのは36人、換金総額は54,100円でした。

オレンジカフェは各地域包括支援センター内で月1回実施しています、実施回数は合計48回でした。認知症サポーターを含むボランティアが合計103人参加しました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				オレンジカフェについては、各地域包括支援センターで、内容やボランティアの活用について工夫して実施、計画通り開催されているため。

【取り組みの課題】

より多くの方に参加していただけるよう、制度の普及に努めるとともに、高齢者が地域の担い手となるような活躍の場の検討が必要です。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

施設でのボランティアに限らず、市主催で行う介護予防教室等において、高齢者がボランティアとして活躍できる仕組みの検討を行います。また、引き続き、より多くの方に参加していただけるよう、制度の普及に努めます。

オレンジカフェ（認知症カフェ）では、ボランティアに運営面でも活躍できるよう認知症地域支援推進員と共に検討します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	68
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(2)	一般介護予防事業 ⑥一般介護予防事業評価事業		
	取り組みの方向性		介護予防に関する普及啓発、ボランティアや地域活動組織との連携等、プロセス（事業が適切に実施できているか）や実施回数・参加人数等の検証を通じて、「一般介護予防事業」の評価をし、その結果に基づき事業の改善を図ります。		

【取り組みの実施状況】

介護予防教室参加者から採ったアンケートでは、主観的健康感の項目で、良好の回答が約6割という状況でした。

高齢者実態調査の結果や要介護認定の申請理由となる原因、介護予防教室参加者からのアンケート結果等から、健康課題や介護予防に関する課題を整理し、介護予防教室の見直しを検討しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				介護予防教室におけるフレイルチェックの実施やアンケート結果を通じて、参加者の健康状態を把握し、介護予防のニーズに合った事業の検討を行っているため。

【取り組みの課題】

フレイル測定参加者が、よりフレイル予防に取り組むことができるよう、フレイル予防に特化した介護予防教室の開催を検討する必要がある。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

現行の体操教室とは別に、フレイルの改善を目的とし、運動・栄養・認知症予防を一体とした教室の開催を目指し、より介護予防とフレイル予防のつながりを強めます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係・地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	------------------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	70
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(3)	介護予防・生活支援サービス ①訪問型サービス		
	取り組みの方向性		・訪問介護 ホームヘルパーによる身体介護（入浴、排せつ、食事等の介助）や生活援助（掃除、洗濯、一般的な調理、買物等）を実施します。 ・訪問型サービスA（基準を緩和したサービス） 緩和した基準により多様な主体が担い手として、生活援助（掃除、洗濯、一般的な調理等）を実施します。 ・訪問型サービスC（短期集中のサービス） 概ね3か月の短期間、保健・医療等の専門職が自宅を訪問し、より日常生活に即した相談支援を実施します。		

【取り組みの実施状況】

令和5年度は、訪問型サービスを8事業所(市内6、市外2)、訪問型サービスAを1事業所指定しており、訪問型サービスが1,189件、訪問型サービスAが438件の利用がありました。

また、訪問型サービスCでは、対象者がいなかったため実施しませんでした。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				訪問型サービスAは利用者がいる一方、訪問型サービスCの利用者がいなかったため。

【取り組みの課題】

訪問型サービスCは利用者が少ないため、実施方法等について検討する必要があります。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

事業の対象となる高齢者に対し、訪問型サービスの利用を勧めるとともに、実施方法等について関係機関と検討を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係・地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	------------------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	70
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(3)	介護予防・生活支援サービス ②通所型サービス		
	取り組みの方向性		・通所介護 デイサービスセンター等に通い、日常生活上の支援と機能訓練等を実施します。 ・通所型サービスA（基準を緩和したサービス） 緩和した基準により多様な主体が担い手として活躍し、家に閉じこもりがちな方等が老人福祉センター内にあるデイサービスに通い、日常動作訓練や趣味活動等を実施します。 ・通所型サービスC（短期集中のサービス） 3から6か月間の短期間教室に通い、生活機能を改善するための機能訓練、栄養改善等を実施します。		

【取り組みの実施状況】

令和5年度は、通所型サービスを24事業所(市内9、市外13)、通所型サービスAを2事業所指定しており、通所型サービスが2,527件、通所型サービスAが353件の利用がありました。

また、通所型サービスCとして、運動機能向上型のはつらつ教室を1事業所、総合型機能向上型のヤシオン教室を1事業所に委託し実施しており、はつらつ教室の利用者は27人、延べ278人、ヤシオン教室の利用者は29人、延べ262人でした。

通所型サービスCの利用期間については、利用者の状態に合わせ、最大6か月（2コース）まで利用可能となり、ヤシオン教室では、6か月利用した方が7人でした。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				通所型サービス全体の利用者は増加しており、利用者の身体機能の向上につながったため。

【取り組みの課題】

通所型サービスCは利用者が少ないため、実施方法等について検討する必要があります。また、短期集中の訓練により機能が改善したあと、通いの場につながっていないため、機能維持を図るための方法について検討が必要です。

今後の方向性	☒ 現状のまま継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

【今後の対応】

事業の対象となる高齢者に対し、訪問型サービスの利用を勧めるとともに、実施方法等について関係機関と検討を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	70
	施策の展開	2	介護予防の推進		
	主な取り組み	(3)	介護予防・生活支援サービス ③介護予防ケアマネジメント		
	取り組みの方向性		地域の様々な資源を活用し、既存の枠組みにとらわれないサービスを提供するため、地域包括支援センター等によるケアプランの作成を実施します。		

【取り組みの実施状況】

介護予防ケアマネジメントを地域包括支援センターへ委託し実施しました。

令和5年度は、居宅要支援者等 2,596 件のプランに対し、介護予防・生活支援を目的に、その心身の状況等に応じて適切な事業が包括的かつ効率的に提供されるように、専門的視点から必要な援助を行いました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				地域包括支援センターにより、随時、必要な支援を行っているため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、高齢者の状態等に応じて柔軟に対応し、自立に向けた支援を行うため、介護予防ケアマネジメントを実施します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	72
	施策の展開	3	住まいの支援		
	主な取り組み	(1)	高齢者居室等整備資金融資制度		
	取り組みの方向性		高齢者の居室等を増築、改築または改造するために必要な資金を融資（融資限度額：1件につき200万円、償還期限：10年以内〔無利子〕）する「高齢者居室等整備資金融資制度」について周知し、利用の促進を図ります。		

【取り組みの実施状況】

平成18年度以降新規申請はありませんでしたが、令和3年度に1件の申請がありました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				市の広報紙やホームページ等への掲載により、事業の周知を図り、制度の利用を検討する方への相談対応も適宜行うことができているため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

介護保険制度では賄えない改築等についても検討できる制度であるため、必要とする方に知っていただけるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	72
	施策の展開	3	住まいの支援		
	主な取り組み	(2)	高齢者世帯等住み替え住宅家賃助成事業		
	取り組みの方向性		住宅の取り壊し等により民間賃貸住宅へ転居する 65 歳以上の高齢者世帯に、転居前と転居後の家賃の差額について月額 3 万円を限度に助成を行う「高齢者世帯等住み替え住宅家賃助成事業」について周知し、利用の促進を図ります。		

【取り組みの実施状況】

令和 5 年度の利用者は 1 名で、助成額は 84,000 円でした。

(平成 29 年 9 月から助成開始 助成月額 7,000 円)

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				事業を必要とする方に対し、適切な給付を実施することができているため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 高齢者世帯等住み替え住宅家賃助成事業を必要とする方に知っていただけるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	73
	施策の展開	3	住まいの支援		
	主な取り組み	(3)	養護老人ホーム		
	取り組みの方向性		養護老人ホームは、65歳以上で、環境上の理由および経済的理由により、居宅での養護を受けることが困難な方が入所する施設です。 現在、本市には養護老人ホームはなく、対象者がいた場合には他市町村の施設に入所措置しています。		

【取り組みの実施状況】

対象者1名が、令和4年度中に死亡により退所となりました。

令和5年度は対象者がいませんでした。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				必要に応じて関係機関と連携し、対応していただくため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 環境上の理由および経済的理由により、居宅での養護を受けることが困難な方がいた場合には、入所措置について検討を行います。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	73
	施策の展開	3	住まいの支援		
	主な取り組み	(4)	軽費老人ホーム		
	取り組みの方向性	軽費老人ホームは、60歳以上（夫婦で入所する場合はどちらかが60歳以上）で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が低額な料金で入所することができ、日常生活上必要な便宜を供与する施設で、利用にあたっては、施設と利用者の契約になります。 軽費老人ホームは、A型（低所得者で身寄りのない方を対象）、B型（家庭環境等により住居生活が困難で、自炊できる程度の健康状態の方を対象）、ケアハウス（高齢等のため独立して生活するには不安のある方を対象）があります。 市内には、ケアハウスが1か所（入居定員 50 人）整備されており、施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。			

【取り組みの実施状況】
市内には、ケアハウスが1か所整備されています。
入居定員は 50 人で、令和5年度末の入居者数は 49 人となっています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				令和5年度末の入居者数は、ほぼ満員となっているため。

【取り組みの課題】
特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】
施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	73
	施策の展開	3	住まいの支援		
	主な取り組み	(5)	有料老人ホーム		
	取り組みの方向性	有料老人ホームは、入浴・排せつ等の介護の提供、食事の提供、その他日常生活上の便宜としての洗濯・掃除等の家事、健康管理を行う施設で、利用にあたっては、施設と利用者の契約になります。 市内には、介護付き有料老人ホームが7か所（入居定員合計 406 人）整備されており、施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。			

【取り組みの実施状況】

市内には、介護付き有料老人ホームが7か所整備されています。

また、令和5年11月に新たに有料老人ホーム1か所（入居定員 38 人）が開所しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				新たに1施設が開所し、市内における施設の整備が進められているため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】	施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。				

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	1	いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組 ～元気に生きがいをもって～	ページ	73
	施策の展開	3	住まいの支援		
	主な取り組み	(6)	サービス付き高齢者向け住宅		
	取り組みの方向性	サービス付き高齢者向け住宅は、60歳以上の単身・夫婦世帯が安心して居住できる環境が整えられ、安否確認や生活相談等のサービスを提供する賃貸住宅で、一定の規模、設備の基準が設けられており、利用にあたっては、施設と利用者の契約になります。 市内には、サービス付き高齢者向け住宅が1か所（27戸）整備されており、施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。			

【取り組みの実施状況】
市内には、サービス付き高齢者向け住宅が2か所（77戸）整備されています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				市内における施設の整備が進められているため。

【取り組みの課題】
特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】	施設について高齢者等に周知し、利用の促進を図ります。				

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	77
	施策の展開	1	地域包括ケアシステムの推進		
	主な取り組み	(1)	高齢者相談窓口の充実		
	取り組みの方向性		高齢者が安心して保健・医療・福祉・介護のサービスを利用するためには、いつでも気軽に相談することができる体制が重要であることから、地域包括支援センターを核とした相談体制の充実を図ります。 また、介護保険サービスに関する苦情について、埼玉県や国民健康保険団体連合会などの関係機関と連携を図り、迅速・適切に対応します。		

【取り組みの実施状況】

地域包括支援センター職員が町会・自治会等に出向き、出前講座を行ったほか、市の広報紙やホームページへの掲載、地域包括支援センターに関するチラシを介護保険料の納付書に同封するなど啓発を行いました。

また、高齢者のワンストップ窓口として、本人・家族や近隣住民、民生委員、医療機関等からの様々な相談に対応し、いつでも気軽に相談できる体制づくりに努めました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				高齢者がいつでも気軽に相談できる体制が整っているため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後、高齢者人口の増加が予測されていることから、引き続き高齢者の相談窓口である、地域包括支援センターの周知に努めます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	78
	施策の展開	1	地域包括ケアシステムの推進		
	主な取り組み	(2)	地域包括支援センター事業		
	取り組みの方向性		地域包括支援センターに主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の専門職を配置し、高齢者が自立した生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉・介護の相談のほか、消費者被害や虐待相談等、様々な相談に対応し、適切なサービスへつなぎます。 また、地域包括支援センターが中心となり、介護サービス事業者等、医療機関、民生委員・児童委員、ボランティア・NPO等関係者との連携を図るとともに、地域包括支援センターの認知度の向上に向けて普及啓発に努めます。 地域包括支援センターの運営にあたっては、運営上の基本的な考え方や理念、業務推進の指針等を明記した「八潮市地域包括支援センター基本方針・運営方針」に基づき、地域包括支援センター業務を円滑に実施します。 ①介護予防支援事業 高齢者が要介護状態等となることをできるだけ防ぎ、要支援状態になってもそれ以上悪化しないよう、状態等にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう、必要な支援をします。 ②総合相談支援事業 関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等からの相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉・介護のサービス、関係機関または制度の利用につなげるなどの支援をします。 ③権利擁護業務 高齢者が尊厳ある生活を維持し、安心して生活することができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のための必要な支援をします。 ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 医療機関を含めた関係機関との連携・協力体制の構築、地域の「介護支援専門員」の後方支援等をします。		

【取り組みの実施状況】

① 第1号介護予防支援事業

介護保険における予防給付の対象となる要支援者や、介護予防・生活支援サービス事業対象となる要支援者、事業対象者の介護予防サービス計画等を6,075件作成するとともに、適切なサービス等の提供が確保されるよう関係機関との連絡調整等を行いました。

② 総合相談支援業務

初期段階での相談対応及び専門的・継続的な相談が12,980件あり、その支援にあたって必要となるネットワークの構築のための会議を262回、出前講座等を141回行いました。

③ 権利擁護業務

成年後見制度相談や日常生活自立支援事業相談、消費者被害相談の対応を行い、また、高齢者虐待の相談を延べ53件、訪問を延べ21件行いました。

④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

医療機関を含めた関係機関とのケア体制の構築、地域の介護支援専門員等の後方支援を行い、介護支援専門員からの相談が227件、サービス事業者からの相談が151件、医療機関からの相談が273件ありました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）	地域包括支援センターが中心となり、高齢者支援に対して迅速な対応を行ったため。			
【取り組みの課題】 高齢者支援の対応力をさらに向上させるために、地域包括支援センターの機能強化をする必要があります。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 地域包括支援センターの機能強化のため、職員向けの研修会を開催するとともに、引き続き相談体制の充実や関係機関との連携に努めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	79
	施策の展開	1	地域包括ケアシステムの推進		
	主な取り組み	(3)	地域包括支援センター運営協議会		
	取り組みの方向性		地域包括支援センターの適切、公平かつ中立な運営を図るため、保健・医療・福祉・介護に関係する団体の代表、社会福祉士等の知識経験者および公募による市民から構成される「地域包括支援センター運営協議会」を開催し、各センターにおける業務の評価等を行います。		

【取り組みの実施状況】

10人の委員からなる「地域包括支援センター運営協議会」を2回開催し、地域包括支援センターの運営等に関する審議を行いました。

協議会委員より、引き続きケアマネジャー不足に関する意見があったことを受け、事業者説明会及びケアマネジャーが参加した研修会において、市内の被保険者のケアプラン作成にご配慮いただきたい旨をお伝えさせていただきました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				年間計画に基づき運営協議会を開催し、地域包括支援センターの運営状況の報告や、委員からの意見聴取ができてきているため。

【取り組みの課題】

多職種からなる運営協議会委員としており、委員から様々な意見聴取ができていますが、発言する委員に偏りがあるため、すべての委員から意見をいただけるよう進める必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

地域包括支援センターの適切・公平な運営を図るため、地域包括支援センター運営協議会を実施し、すべての委員から意見をいただけるよう協議会を運営します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	79
	施策の展開	1	地域包括ケアシステムの推進		
	主な取り組み	(4)	地域ケア会議		
	取り組みの方向性		要介護状態等の予防または重度化防止を推進するとともに、高齢者個人への支援の充実と、それを支える社会基盤を整備するため、「地域ケア会議」を設置します。 ① 地域ケア推進会議 自立支援型地域ケア会議や、地域ケア個別会議等で抽出された地域課題を整理し、政策形成に向けた課題の整理、検証等を実施します（月1回開催）。 ② 自立支援型地域ケア会議 自立支援・重度化防止の観点に基づき、多職種でケアプランを検討することにより、個別課題の解決、介護支援専門員や地域包括支援センター職員のケアマネジメントの質の向上、地域課題の抽出を実施します（月1回開催）。 ③ 地域ケア個別会議 市内各圏域で、適切な支援の介入が困難な事例について、各地域包括支援センターが主体となり、関係機関と連携の上、問題解決に向けた対応策や支援方針に関する検討をします（随時開催）。 ④ 専門職種別連絡会議 各地域包括支援センターの主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の専門職ごとに情報を共有し、それぞれの専門性に特化した課題等の解決に向けた検討をします（各々月1回開催）。		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検討ケース長期目標達成率（％）	— 69.2	72.0 94.6	73.0 81.6	75.0 82.8

【取り組みの実施状況】	
① 地域ケア推進会議	計12回開催し、市、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターが、延111人参加しました。
② 自立支援型地域ケア会議	計12回（うち1回書面）開催し、助言者、地域包括支援センター、在宅医療サポートセンター、生活支援コーディネーター、介護サービス提供事業所等が延230人参加し、36件のケアプランを検討しました。 また、ケアプランを検討してから6か月後と12か月後に、目標を達成できているか68件のモニタリングをしました。
③ 地域ケア個別会議	適切な支援の介入が困難な事例について、各地域包括支援センターが、民生委員・児童委員、町会自治会、介護保険サービス事業者等の関係者を召集し、課題解決に向けた対応策や支援方針の検討を9回行いました。
④ 専門職種別連絡会議	各地域包括支援センターの主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の専門職ごとに月1回、合計36回行いました。

評価	□順調	■概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				地域ケア会議を適切に活用することにより、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメント支援や困難事例の解決につなげることができたため。
【取り組みの課題】 自立支援型地域ケア会議を開催する中で、自立支援・重度化防止を意識したサービス提供が、介護支援専門員だけではなく、介護サービス事業者にも十分に浸透していないことが課題です。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 自立支援型地域ケア会議において自立支援・重度化防止を意識したサービス提供を行っていただけるよう、引き続き、要支援者等の機能評価についての研修会を実施し、会議で検討されたケースの事前事後の機能評価を、同じ基準で行うことが出来るよう進めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	81
	施策の展開	1	地域包括ケアシステムの推進		
	主な取り組み	(5)	生活支援体制の充実		
	取り組みの方向性	ひとり暮らし高齢者や夫婦2人暮らし高齢者、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供だけではなく、民間企業、NPO法人、ボランティア等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、日常生活を支えていく生活支援サービスの体制整備を進めるため、「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置するとともに、「協議体」を設置して、関係団体等と定期的に情報を共有し、生活支援サービスの充実・強化を図ります。 身の回りの支援については、移送サービスや外出同行、見守り、声かけ、掃除・洗濯、買い物、調理などのニーズが高いため、第2層協議体で圏域ごとに検討します。 また、担い手の育成や支え合いの仕組みについて、生活支援コーディネーターを中心に取り組みます。			

【取り組みの実施状況】

市全域を範囲とする第1層生活支援コーディネーターの配置に加え、日常生活圏域を範囲とする第2層の生活支援コーディネーターを各地域包括支援センターに1名配置し、情報共有や検討の場として生活支援コーディネーター連絡会を年9回開催しました。

また、市、第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、八潮市社会福祉協議会、八潮市シルバー人材センター、社会福祉課、市民協働推進課で第1層協議体を年3回開催しました。協議体では、関係団体の活動報告や情報交換を行うことにより、第1層生活支援コーディネーターの活動を支援することができました。

第2層協議体名称		構成員数	開催回数	実施内容
東部	やしおの東サポート隊	9人	12回	社会福祉法人のバスを利用した「買い物バス」の運行・改善
西部	にこっとよりあい会	9人	11回	地域コミュニティの形成・災害時の情報伝達の検証
南部	困（こま）ちゃん気にかかけ隊	7人	12回	集いの場の立ち上げ支援・困りごと解決支援の検討
北部	ほくぶ花しあい隊	8人	12回	地域の防犯について検証と周知活動・孤立防止支援の検討

地域住民への事業の普及啓発として1月14日（やしお苑）、3月10日（市役所多目的室）に「みんなで支え合う生活支援づくりフォーラム」を開催し、合計96人の市民が参加しました。「私にもできる！みんなが主役の地域づくり・地域コミュニティ形成」をテーマに、各圏域で活動している第2層メンバーの皆さんの発表、グループ討議等を行いました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				第2層協議体で検討されている生活支援について、実施に向けた準備が進められているため。

【取り組みの課題】

協議体で検討している地域課題について、課題解決に向けた対応につなげていく必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

住民主体の互助の取り組み等を進めるため、さらに生活支援体制を住民へ周知する必要があります。助けあい・支え合いの地域づくりを進めていくため、市民向けフォーラムの開催や、市広報紙やホームページに事業に関する記事を掲載し、普及啓発に努めます。

また、第2層の取組が他地域でも活かせるよう、生活支援コーディネーター連絡会で働きかけ、高齢者の生活支援体制の構築に努めるとともに、継続して活動できるよう実施方法等について検討します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	82
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(1)	高齢者の見守り体制の充実		
	取り組みの方向性		地域を巡回している各団体や事業所、または高齢者が立ち寄る事業所の協力のもと、日ごろの活動の中で高齢者を見守り、気になる高齢者を見かけた場合に市や地域包括支援センターに連絡してもらうことにより、高齢者への支援につなげる「高齢者支援ネットワーク」の普及啓発に努め、事業の充実を図ります。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
協力事業者数（件）	180	190	200	210
	183	185	185	179

【取り組みの実施状況】

協力事業者に対して、熱中症対策や認知症等に関する取組を記載した「ネットワークだより」を年2回作成し、併せて登録情報の再確認を行いました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				ネットワーク体制の充実に向けて、関係者へ情報提供を行うことができたため。
【取り組みの課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 地域の見守り体制の充実や、高齢者支援ネットワークの協力機関の機能強化を図るために、ネットワークだよりの作成や高齢者支援ネットワーク連絡会を開催し、情報の共有や課題の検討等を行います。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	83
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(2)	高齢者在宅福祉サービス ①救急医療情報キット配布事業		
	取り組みの方向性		持病やかかりつけの医療機関などの医療情報をもとに、救急隊員が迅速で適切な救急対応を行うため、ひとり暮らし高齢者等に救急医療情報キットを配布します。		

申請理由(年度末実績)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ひとり暮らし高齢者	536	576	646	555
ひとり暮らし障がい者	30	8	9	9
高齢者世帯	176	147	158	144
日中独居	79	57	63	51
その他(同居家族が障がい者等)	14	29	29	25
合計	835	817	905	784

【取り組みの実施状況】

ひとり暮らし高齢者等を対象に救急医療情報キットを配布し、配布者の情報を草加八潮消防組合に事前に提供しています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調) 遅れ(このままでは最終目標の達成が難しい)				必要な方に対して配布することができているため。

【取り組みの課題】

救急医療キット内の医療情報の内容が古くなっていることがあるため、定期的に見直しをする必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

救急医療キット内の医療情報の内容を定期的に見直しするため、民生委員や地域包括支援センター、介護支援専門員等へ協力していただくよう会議等で依頼します。

救急医療キットを必要とする方に対して適切に配布できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	83
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(2)	高齢者在宅福祉サービス ②緊急時通報システム事業		
	取り組みの方向性		急病等の緊急時に 24 時間体制で緊急センターに通報でき、また高齢者からの相談に随時応じるため、虚弱なひとり暮らし高齢者等を対象に、緊急通報装置を貸与します。		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設置台数(台)	293	295	262	253
通報件数(件)	302	323	213	173
内訳) 救急車出動	31	39	31	26
生活相談	66	78	48	44
誤報	205	206	134	103
安否確認数(件)	3,083	2,877	2,688	2,513

【取り組みの実施状況】

比較的虚弱なひとり暮らし高齢者等を対象に、緊急通報端末機の貸与を行い、月1回受付センターが利用者の安否確認を行っています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調) 遅れ(このままでは最終目標の達成が難しい)				事業実施により、急病時の迅速な救急対応につなげることができているため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後、ひとり暮らし高齢者が増加することが見込まれているため、緊急時通報システムを必要とする方に対して貸与できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	83
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(2)	高齢者在宅福祉サービス ③紙おむつ給付事業		
	取り組みの方向性		常時寝たきりまたは重度の認知症の状態にあり常に排せつの介助を必要とする高齢者やその家族の負担を軽減するため、低所得高齢者を対象に、紙おむつを給付します（令和4年度から変更）。		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数 3月末(人)	190	183	190	154
内訳) 寝たきり状態	89	66	71	57
重度の認知症	49	48	45	34
その他疾病	52	69	74	63
給付件数(件)	1,853	1,929	1,673	1,568

【取り組みの実施状況】

令和4年7月給付分から対象要件を変更して、紙おむつを給付しました。

紙おむつの配達薬剤師会に委託し、配達に併せて利用者の健康相談も行っており、経過観察が必要な家庭の情報を共有する等の協力体制を取っています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				サービスを必要とする方に対して適切に給付を行うことができているため。
【取り組みの課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 紙おむつ給付事業が継続できるよう随時見直しを図るとともに、必要とする方に適切に給付できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	83
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(2)	高齢者在宅福祉サービス ④訪問理美容サービス事業		
	取り組みの方向性		常時寝たきり状態の高齢者やその家族の負担を軽減するため、低所得高齢者を対象に、理容師または美容師が自宅に訪問し、カットなどのサービスを提供します（令和4年度から変更）。		

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用券交付者数(人)		37	51	51	23
延べ利用枚数(枚)		56	70	66	50
内訳	理容	33	45	36	23
	美容	23	25	30	27

【取り組みの実施状況】

令和4年7月給付分から対象要件を変更して、福祉理美容券を交付しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				サービスを必要とする方に対して適切に提供することができているため。
【取り組みの課題】 特にありません。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】 訪問理美容サービス事業が継続できるよう随時見直しを図るとともに、必要とする方に適切に提供できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	83
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(2)	高齢者在宅福祉サービス ⑤日常生活用具給付等事業		
	取り組みの方向性		日常生活を営むのに必要な便宜を図るため、ひとり暮らし高齢者等に対し、火災警報器、自動消火器、電磁調理器の給付や、電話加入権の貸与をします。		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
給付数(県)	3	1	1	0
内訳)電磁調理器	3	1	1	0
火災警報器	0	0	0	0
自動消火器	0	0	0	0
老人電話(加入権)	0	0	0	0
【取り組みの実施状況】 電磁調理器の相談はありましたが、申請にはつながりませんでした。 給付が可能な日常生活用具は老人福祉法で定められており、また、給付に際しては所得制限があるため、給付数は数件です。				

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調) 遅れ(このままでは最終目標の達成が難しい)				サービスを必要とする方に対して適切に給付することができているため。
【取り組みの課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了、	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 日常生活用具給付等事業を必要とする方に適切に給付できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	83
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(2)	高齢者在宅福祉サービス ⑥配食・安否確認サービス事業		
	取り組みの方向性		心身機能の低下等のあるひとり暮らし高齢者等に対し、食事を提供するとともに安否確認を行うため、バランスの取れた普通食や調整食の配達と見守りを、最大週7日実施します（令和3年度から変更）。		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数(人)	165	174	145	127
利用者数 3月末(人)	116	108	81	68
調整食利用者数(人)	20	22	22	10
配食数(食)	17,251	16,725	14,807	12,896
うち昼食(食)	7,733	7,897	7,173	5,477
うち夕食(食)	9,518	8,828	7,634	7,419
不在連絡件数(件)	7	6	2	2

【取り組みの実施状況】

ひとり暮らしの高齢者等で、食事の確保が困難かつ安否確認が必要な方を対象に、食事の配達及び利用者の安否確認を行いました。

不在連絡件数は、前年と同数の2件と少なくなっています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				事業を必要とする方に対し、適切に給付を実施することができているため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 配食・安否確認サービスを必要とする方に適切に給付できるよう、市の広報紙やホームページ等による事業の周知に努めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	ページ	83
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(2)	高齢者在宅福祉サービス ⑦家具転倒防止器具等取付事業		
	取り組みの方向性		地震等による家具の転倒を防ぐため、転倒防止に有効な器具を、1世帯につき3棹まで取り付けます。		

【取り組みの実施状況】				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ申請件数（件）	1	1	1	0
取付家具数（棹）	1	3	3	0
市で行う家具転倒防止器具等取付事業は非課税世帯等が対象となりますが、対象外の方には八潮市シルバー人材センターで行う自費での取付を案内しています。				

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）	サービスを必要とする方に対して適切に実施することができているため。			
【取り組みの課題】 特にありません。				

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 家具転倒防止器具等取付事業を必要とする方に適切に給付できるよう、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	84
	施策の展開	2	地域で見守る高齢者支援体制の推進		
	主な取り組み	(3)	高齢者の権利擁護支援		
	取り組みの方向性		高齢者が尊厳を保ち、地域で安心して生活できるよう、「成年後見制度」の活用促進や高齢者虐待への対応、消費者被害の防止など、権利擁護施策を推進します。 成年後見制度については、認知症等で判断能力が低下している高齢者の権利や財産を守るため、成年後見センターと連携して普及啓発に努め、申立人のいない高齢者には「市長申立て」を行うとともに、費用の負担が困難な方へ助成します。 高齢者虐待については、高齢者虐待防止の普及啓発を行うとともに、日ごろから高齢者を支援している介護支援専門員、介護サービス事業者等に「高齢者虐待防止・早期発見マニュアル」を配布し、適切な対応が行えるよう周知します。なお、虐待で高齢者を老人福祉施設等へ保護することが必要と判断された場合には、関係機関と連携を図り、速やかに対応します。 また、消費者被害の防止については、普及啓発や関係機関との連携を図ります。		

【取り組みの実施状況】

地域包括支援センターの社会福祉士が中心となり、地域で権利擁護を必要とする認知症高齢者の情報を共有するとともに、広報紙等による普及啓発を行いました。また、申立人のいない高齢者に対し、成年後見制度における市長申立てを7件行いました。

虐待が疑われるケースについては、「高齢者虐待防止・早期発見マニュアル」に基づき、速やかに対応しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				権利擁護を必要とする高齢者の情報を地域包括支援センターと共有し、早期に状況に応じた支援を行ったため。

【取り組みの課題】

成年後見制度の活用促進や高齢者虐待への支援体制について、積極的に市民への情報提供を行う必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 成年後見制度の活用促進や高齢者虐待への早期発見など、状況に応じた支援ができるよう、市の広報紙やホームページ、チラシを活用して周知を行います。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	85
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(1)	認知症等に関する啓発		
	取り組みの方向性		認知症や脳卒中の後遺症等による高次脳機能障がい等の普及啓発のため、市民向け講演会の開催、世界アルツハイマー月間におけるパネル等の展示、「認知症ケアパス」の活用および認知症に関するパンフレット等を配布します。 また、認知症について正しく理解し、当事者やその家族を見守り、支援する認知症サポーターを養成するため、「認知症サポーター養成講座」を小中学校や市民、民間企業向けに開催します。 さらに、認知症サポーターの活躍の場を広げられるよう、「認知症サポーターステップアップ講座」を開催します。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症サポーター 養成数(人)	5,200	5,400	5,600	5,800
(平成20年からの累計)	5,082	5,135	5,446	5,619

【取り組みの実施状況】

地域や職域において認知症の方と家族を支える「認知症サポーター養成講座」を年10回実施し、173人が受講しました。平成20年から累計で5,619人が認知症サポーターとなっています。

また、9月のアルツハイマー月間に合わせて、9月25日から29日まで市役所ロビーにて認知症に関する展示を行うとともに、11月11日に認知症に関する市民向け講演会「映画 ～オレンジランプ～上映会」を開催し、60人が参加しました。

さらに、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、24人が参加しました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				新型コロナウイルス感染症の影響により、認知症サポーター養成講座が実施できず、認知症サポーター養成数が目標値に達成していないため。

【取り組みの課題】

認知症サポーターの活躍の場を広げていく取組が必要です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、市民向けの認知症サポーター養成講座、認知症に関する講演会を開催するほか、アルツハイマー月間に認知症地域支援推進員が主体となり、市役所ロビーで市民へ認知症に関する普及啓発を行い、認知症に関する正しい知識と理解の促進を図ります。

また、認知症サポーターの活躍の場を広げることができるよう、認知症サポーターステップアップ講座を継続して行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	85
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援 ①認知症検診の実施と啓発		
	取り組みの方向性		認知症の早期発見・早期対応につなげるよう、医療機関における「認知症検診」を実施するとともに、普及啓発に努めます。		

【取り組みの実施状況】

60歳と65歳以上の市民を対象とした認知症検診を草加八潮医師会に委託しました。令和5年度は1,463人が受診し、うち93人が精密検査を受けました。

●認知症検診結果(認知症検診検討委員会説明資料)

			令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
60歳	対象者数		833人		818人		884人		948人	
	受診者数(割合)		7人	0.8%	3人	0.2%	3人	0.3%	3人	0.3%
	判定	判定1 問題なし	6人	85.7%	3人	100%	1人	33.3%	3人	100%
		判定2 要精密検査	1人	14.3%	0人	0.0%	2人	66.7%	0人	0.0%
		判定3 治療中	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
65歳以上	対象者数		20,936人		20,958人		20,970人		20,958人	
	受診者数(割合)		1,612人	7.7%	1,499人	7.2%	1,393人	6.6%	1,460人	7.0%
	判定	判定1 問題なし	1,271人	78.8%	1,180人	78.9%	1,128人	81.0%	1,164人	79.7%
		判定2 要精密検査	294人	18.2%	280人	18.4%	233人	16.7%	267人	18.3%
		判定3 治療中	47人	2.9%	39人	2.7%	32人	2.3%	29人	2.0%

※判定の割合は、受診者数に対する比率。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調) 遅れ(このままでは最終目標の達成が難しい)				認知症検診受診者数が伸びていないため。
【取り組みの課題】				
認知症検診受診者数が伸びておらず、認知症検診に関する周知をする必要があります。				

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
【今後の対応】					
認知症の早期発見、早期対応につなげるよう、認知症検診について市の広報紙やホームページ等による事業の周知に努めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	86
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援 ②認知症初期集中支援チーム		
	取り組みの方向性		認知症の方やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を強化します。		

【取り組みの実施状況】

令和5年度、認知症初期集中支援チームは休止となっています。

認知症初期集中検討委員会を開催し、認知症と診断された高齢者が増加している現状や受診拒否のある方への支援の困難さ等について意見がありました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				認知症初期集中検討委員会の開催により情報共有はできたが、初期集中支援チームが休止しているため。

【取り組みの課題】

初期集中支援チームの支援体制の強化に向けた検討を行う必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築するため、関係機関と検討を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	86
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援 ③認知症地域支援推進員活動の充実		
	取り組みの方向性		認知症の方に対して効果的な支援が行われる体制の構築や、認知症ケアの向上を図るための取組を推進するため、「認知症地域支援推進員」を配置します。また、認知症地域支援推進員連絡会で取組等について協議するとともに、認知症初期集中支援チームとの連携や、「認知症ケアパス」の作成および普及啓発を実施します。		

【取り組みの実施状況】

各地域包括支援センターと市に認知症地域支援推進員を計6名配置し、年6回連絡会を開催しました。連絡会では、認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ講座の実施、認知症地域支援推進員及び認知症サポーターによる啓発活動等について検討を行いました。啓発活動については、アルツハイマー月間におこなっているフレスポ八潮での認知症ケア相談室の開設のほか、市民イベント（枝豆まつり・八潮夜市・市民まつり）において、啓発品の配布を行いました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				認知症地域支援推進員連絡会を実施し、認知症施策について検討・情報共有ができたため。

【取り組みの課題】

認知症サポーターの活躍の場など、地域における認知症ケア向上を図るための取組を検討する必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

認知症対応策の充実のため、認知症地域支援推進員連絡会を開催します。また、認知症ケアの向上を図るための取組として、先進自治体の例を参考に認知症サポーターの活躍の場について検討します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	86
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援 ④オレンジカフェの充実		
	取り組みの方向性		認知症の方やその家族、地域住民、専門職等が参加できる集いの場を提供することにより、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを支援するため、市内4か所の地域包括支援センターに「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を設置し、各々月1回実施します。 実施にあたっては、認知症地域支援推進員や認知症サポーター養成講座を受講したボランティアの方と連携して運営します。		

【取り組みの実施状況】

感染予防対策を講じてオレンジカフェを実施しました。

		東部包括	西部包括	南部包括	北部包括	合計
実施回数（回）		12	12	12	12	48
参加者内訳	参 当事者	41	29	11	21	102
	加 介護家族	50	44	18	9	121
	者 専門職（介護支援専門員、サービス提供事業者等）	14	54	26	5	99
	内 地域住民	222	227	82	106	637
	訳 運営ボランティア	40	26	10	27	103
	その他	2	0	7	1	10
参加者合計（人）		369	380	154	169	1,072

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				各地域包括支援センターで、内容やボランティアの活用について工夫して実施されているため。

【取り組みの課題】

オレンジカフェ（認知症カフェ）は、認知症の方やその家族、地域住民、専門職などが参加し、集いや交流、情報交換を行うことができる場ですが、今後はより本人及び家族の参加を増やしていくことが課題となっています。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

認知症地域支援推進員連絡会で、オレンジカフェ（認知症カフェ）の課題について精査し、効果的な運営等について検討します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	87
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援 ⑤徘徊高齢者早期発見ネットワーク		
	取り組みの方向性		認知症により、徘徊の症状がみられる方の行方が分からなくなった場合に、高齢者支援ネットワークに登録された協力事業者へ徘徊された方の情報を電子メールで送信し、早期発見・保護につなげます。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
協力事業者数（件）	180	190	200	210
	183	185	185	179

【取り組みの実施状況】

徘徊高齢者早期発見ネットワークに46人が事前登録しており、徘徊発生による協力機関への発見協力依頼のメール送信は0件でした。

また、協力事業者に対して、コロナ禍における熱中症対策や、認知症等に関する取組を記載した「ネットワークだより」を年2回作成し送付しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				ネットワーク体制の充実に向けて、関係者へ情報提供を行うことができたため。

【取り組みの課題】

徘徊高齢者早期発見ネットワークに事前登録していない高齢者の行方が分からなくなることがあるため、住民への周知が十分でない可能性があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

徘徊の心配のある高齢者は今後も増加することが予想されるため、ネットワーク体制を活用して早期発見につなげることができるよう、協力事業所に対しネットワーク体制に関するお知らせや情報提供を定期的に行うなど、協力事業所との連携強化に努めるとともに、民間企業等に対して協力事業所への登録を促します。

また、必要な方に事業を活用していただくために、市の広報紙やホームページ等への掲載による事業の周知に努めます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	87
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援 ⑥徘徊高齢者の家族支援		
	取り組みの方向性		GPS端末による「位置探索システム」や、二次元コードが印字された「見守りシール」を活用して、認知症により、徘徊の症状が見られる方を早期に発見することを支援し、家族の負担軽減を図ります。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
位置探索システム	18	25	30	35
利用料補助（件）	24	18	17	13
見守りシール配布数（件）	10	12	15	18
	8	3	4	4

【取り組みの実施状況】

位置探索システムの利用料の補助や二次元コード(QRコード)が印字された見守りシールの配布により、徘徊高齢者を早期に発見することを支援し、家族の負担軽減を図りました。

また、パンフレットの配布や市の広報紙、ホームページへ掲載することにより事業の普及啓発を行いました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				利用料補助や配布数が目標値を下回っているため。

【取り組みの課題】

利用料補助や配布数が目標値を下回っているため、さらに周知を行う必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

今後も、年間を通してパンフレットの配布や市の広報紙、ホームページへの掲載、講演会等での事業の周知を行います。
また、市役所ホールでアルツハイマー月間や認知症に関する啓発や事業の案内を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	87
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(2)	認知症の早期発見・早期対応と介護者支援 ⑦認知症ケア相談室		
	取り組みの方向性		家族介護者等に、認知症ケアに関する困りごとの相談や介護技術の助言等を行う「認知症ケア相談室」の設置を検討します。		

【取り組みの実施状況】

令和5年4月1日に各地域包括支援センター内に認知症ケア相談室を開設しました。
家族介護者等に認知症ケアに関する困りごとや介護技術の助言等を行いました。

	東部包括	西部包括	南部包括	北部包括	合計
相談件数	51	22	37	101	211
対応件数	97	12	25	213	347

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				令和5年度に認知症地域ケア相談室を開設したため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

高齢者人口の増加に伴い、認知症の相談も増加すると予測されることから、認知症ケアに関する相談窓口として周知を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	87
	施策の展開	3	認知症総合施策の推進		
	主な取り組み	(3)	認知症バリアフリーの推進		
	取り組みの方向性		認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けるための障壁を減らすことを目的に、認知症バリアフリーの取組みを推進します。 地域での支援体制の充実を図るため、認知症の方やその家族のニーズに合った具体的な支援を進める、認知症サポーター等による支援チーム「チームオレンジ」の整備を検討します。		

【取り組みの実施状況】

チームオレンジの整備について、認知症地域支援推進員連絡会において情報提供を行い、活動内容等について検討を行いました。

チームオレンジの活動検証として、9月のアルツハイマー月間にフレスポ八潮で認知症ケア相談室の開設のお知らせと認知症の啓発活動を行った。また、市民イベント（市民まつり、夜市、枝豆まつり）において、認知症ステップアップ講座受講者のボランティアと協働で啓発品の配布を行いました。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				「チームオレンジ」の整備について、地域包括支援センターと継続して情報共有ができているため。

【取り組みの課題】

チームオレンジの整備について、具体的な活動内容等について検討を行う必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

認知症に関する周知を行うとともに、担い手の発掘及びチームオレンジの活動について検討を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	88
	施策の展開	4	社会福祉協議会との連携		
	主な取り組み	(1)	生涯学習活動の啓発事業		
	取り組みの方向性		元気で活力のある高齢者が、これまでの多様な社会経験や能力を活かせる機会、また生きがいがづくりとして生涯学習の機会を充実することにより、高齢者の自主的な活動や、学習意欲の向上を図ります。 また、社会福祉協議会において、退職後の人生を有意義に過ごすことができるよう地域活動や生きがいがづくりについて考える「セカンドライフ講座」や、男性の食生活の自立を推進する「男性の料理教室」などの講座を開催します。		

【取り組みの実施状況】

○高齢者の自主的活動の支援

老人福祉センター寿楽荘では「八潮市寿大学」を令和5年11月10日から令和6年1月19日までの間に講義を10日間開催し、男性9人、女性5人の計14人が卒業しました。講義内容は、八潮市社会福祉協議会について、交通安全教育、楽しく健康ウォーキング、障がいの理解と福祉用具の使い方、虐待のない社会を目指して、フレイル（虚弱）予防についてなどでした。

○生涯学習活動の啓発

各団体や関係機関等において、文化・教育・スポーツ等の各種講座等を実施しました。

① 「きらめきクラブ八潮」では、草加市の老人クラブと交流ゲートボール大会を、令和5年6月24日に老人福祉センターすえひろ荘で開催しました。

「きらめきクラブ八潮」では、第36回グラウンドゴルフ大会を令和5年5月11日に、第37回を令和5年9月14日に開催しました。

② 社会福祉協議会では、セカンドライフ講座を令和5年5月8日から5月29日までに4回開催しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				新型コロナウイルスの影響で中止していた事業を再開することができたため。

【取り組みの課題】

八潮市寿大学の講義内容について、参加する方の学習意欲が向上されるよう、社会情勢の変化に応じた講義内容を定期的に見直します。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

高齢者が住み慣れた地域で、その有する能力に応じ、生きがいを持って安心して暮らしていけるよう、社会福祉協議会と連携を図り、事業の利用を促進します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	地域福祉係
-----	---------	-----	-------

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	88
	施策の展開	4	社会福祉協議会との連携		
	主な取り組み	(2)	各種福祉事業の推進 ①ふれあいサロン		
	取り組みの方向性		ひとり暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子等の仲間づくりや生きがいづくりを目的に、ふれあいサロンの普及を促進します。 また、会食やおしゃべり等によるふれあいや交流の場をつくる、住民による自主的・主体的な地域活動であるふれあいサロンについて、実施支部（町会・自治会）に「支部モデル事業補助金」を交付し、活動を支援します。		

【取り組みの実施状況】

「ふれあいサロン」はひとり暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子等が地域の中でいきいきと暮らしていけるよう仲間づくりや生きがいづくりを行う活動です。

令和5年度は、全44支部（町会・自治会）あるうちの26支部が実施し、延べ195回開催しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				ふれあいサロン実施支部数がコロナ前の水準に戻ったため。

【取り組みの課題】

全ての支部でふれあいサロンが実施されているわけではありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 支部（町会・自治会）がふれあいサロンを安心して行えるように、「ふれあいサロン実施支部紹介冊子」を活用しながら、すでに再開している支部の情報提供をします。ふれあいサロンに関心のある支部に対して、ふれあいサロンの立ち上げ支援をします。 今後もサロンなどを通じて、高齢者等の心身の健康を維持・増進し、社会参加を促すために交流事業の普及を図ります。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	地域福祉係
-----	---------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	89
	施策の展開	4	社会福祉協議会との連携		
	主な取り組み	(2)	各種福祉事業の推進 ②ひとり暮らし高齢者の見守り活動		
	取り組みの方向性		ひとり暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域の民生委員・児童委員、ボランティア等の協力により、希望者に対し5つの見守り活動を実施します。 a 民生委員カレンダー配付活動 民生委員・児童委員が、見守りカレンダーを月1回配付し、見守り活動を実施します。 b 近隣たすけあい見守り活動 見守り協力員が、日常生活を送る中で、利用者の見守り活動を実施します。 c 乳製品配達サービス 乳製品配達業者が、乳製品を利用者宅へ週1回決まった曜日に配達し、安否確認と声かけ活動を実施します。 d 友愛電話活動 ボランティアが、電話による安否確認を週1回（火曜日）実施します。 e 災害時情報提供活動 民生委員・児童委員が、災害時の安否確認のために、希望者の個人情報を救助機関等へ提供します。 また、災害時に備えて、平常時から町会単位等の民生委員・児童委員間でその個人情報を共有します。		

実績（利用者数）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
見守り活動(人)	515	520	502	496
① 民生委員カレンダー配付活動（人）	460	464	443	430
② 近隣たすけあい見守り活動（人）	178	172	157	158
③ 乳製品配達サービス（人）	178	179	178	185
④ 友愛電話活動（人）	93	87	87	87
⑤ 災害時情報提供活動（人）	398	415	385	361

【取り組みの実施状況】

65歳以上のひとり暮らしで見守りを希望する高齢者に対し、見守り活動を実施しました。地域包括支援センターや介護保険事業所等から、見守りを希望する連絡をいただくことも多くなり、関係機関と連携しながら、ひとり暮らし高齢者が安心して在宅生活を継続できるように事業を実施しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				各種見守り活動が機能しているため。

【取り組みの課題】

見守り活動の利用者で、介護保険事業所等の関わりがなく、体調の急変等で安否確認のための訪問が必要なケースや、認知症や精神疾患等が疑われるが、介護保険事業所等の関わりなく、見守っているケースがあります。

今後の方向性	☐ 現状のまま 継 続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☒ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---

【今後の対応】

今後も、地域包括支援センター等の関係機関と連携を図りながら、地域の中で見守りに努めます。

令和5年度中に、ひとり暮らし高齢者の見守り活動における「災害時情報提供活動」を、市で実施している「災害時
要援護者情報の登録」へ移行し、令和6年度「災害時情報提供活動」の廃止に向けて、準備を進めて参ります。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	身体障害者福祉センター係
-----	---------	-----	--------------

現 行 計 画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	89
	施策の展開	4	社会福祉協議会との連携		
	主な取り組み	(2)	各種福祉事業の推進・③福祉車両・車いすの貸出事業		
	取り組みの方向性		日常生活を営む上で移動が困難な方に、日常生活の改善を図るため、福祉車両（車いすのまま乗降できる自動車）や車いすの貸出事業の周知を図り、実施します。		

【取り組みの実施状況】

日常生活を営む上で移動が困難な方に、日常生活の改善を図るため、福祉車両や車いすの貸し出しを行いました。
福祉車両25件、車イス120件

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				申請者に対し、適切に貸出を行えているため。

【取り組みの課題】

利用希望者の増加もあり、車椅子の在庫不足もみられる時がある。台数増加の検討も必要です。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

より多くの方に制度を知っていただけるよう、引き続き周知を図ります。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	事業係
-----	---------	-----	-----

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	89
	施策の展開	4	社会福祉協議会との連携		
	主な取り組み	(2)	各種福祉事業の推進 ④生活福祉資金貸付事業		
	取り組みの方向性		低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯を対象として、民生委員・児童委員の援助を伴いながら、無利子または低利で福祉用具等の購入や介護サービス等を受けるために必要な経費等、生活に必要な各種資金を貸し付け、世帯の自立に向けて支援します。		

【取り組みの実施状況】

市の自立相談支援窓口等の他機関との連携を図ることにより、貸付以外も含め、総合的に支援することができました。
また、令和2年3月から行われた新型コロナウイルス感染症に起因する生活困窮者に対する特例貸付が令和4年9月をもって終了し、現在はその債権管理業務を継続して行っています。
相談件数2件、貸付件数3件

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）				特例貸付の債権管理業務と並行し、通常の貸付希望者に対しても、適切に相談・貸付業務を行うことができたため。
概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）				
遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				

【取り組みの課題】

関係機関相互の制度の理解を深め、よりスムーズな対応を進めていく必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も、関係機関と連携を密にしながら、総合的な支援を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	事業係
-----	---------	-----	-----

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	90
	施策の展開	4	社会福祉協議会との連携		
	主な取り組み	(2)	各種福祉事業の推進 ⑤ リバースモーゲージ（不動産担保型生活支援）		
	取り組みの方向性		ひとり暮らし高齢者の増加等により事業利用者の増加が見込まれることから、現に居住中の不動産（土地、建物）を所有している高齢者が、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する場合に、その不動産を担保にして生活資金の貸付を行う「リバースモーゲージ」について、事業の周知を図り、実施します。		

【取り組みの実施状況】

貸付者、貸付終了者ともに定期的な状況確認を行っています。令和6年3月末現在の貸付者は1人で、貸付終了者についても、不動産を担保にして生活資金を貸し付けていたことから生活状況の確認を行っています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				申請者に対して、適切に貸付を行えたため。

【取り組みの課題】

貸付終了者が、貯蓄が尽きるタイミングで生活保護へ移行する必要があるケースが多くあり、より注意して状況確認を行う必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も、貸付者、貸付終了者ともに定期的な状況確認を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	社会福祉協議会	記入者	事業係
-----	---------	-----	-----

現行計画	基本目標	2	住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組 ～地域の支援が必要になったら～	ページ	90
	施策の展開	4	社会福祉協議会との連携		
	主な取り組み	(2)	各種福祉事業の推進 ⑥福祉サービス利用援助事業		
	取り組みの方向性		認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方が地域において自立した生活を送ることができるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理、書類預かりなどの支援を行う福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）について、事業の周知を図り、実施します。		

【取り組みの実施状況】

生活支援員4名を配置し、支援を行っています。契約者総数は49名で、令和4年度から2名増加しました。新規契約者は8名でした。生活支援員がつけられないケースについては、社会福祉協議会常勤職員が専門員として対応しています。

また、サービス担当者会議への出席、依頼があった利用希望者への訪問説明などを適宜行うとともに、社協広報紙へ事業の案内を掲載し周知を図っています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				契約者数は増加し事業の充実が図れたため。

【取り組みの課題】

契約者数の増加もあり生活支援員の不足は続いています。既存の生活支援員の担当増や、新たな生活支援員の雇用について検討する必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

引き続き、研修受講者を中心に生活支援員の確保に努めるとともに、既存の生活支援員との担当の調整を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係、高齢者政策係
-----	-------	-----	------------------

現行計画	基本目標	3	介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	93
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取り組み	(1)	情報提供体制の充実		
	取り組みの方向性		要介護認定の申請手続き、介護保険サービス、介護予防・生活支援サービス、高齢者在宅福祉サービス等に関する情報について、広報やしお、八潮市公式ホームページ、パンフレットなどを通じて、分かりやすい情報提供に努めるとともに、高齢者の相談窓口である各地域包括支援センターや関係機関と連携が図れる体制を確保します。 さらに、市の施策や介護保険法の改正などの情報提供を行うため、「介護保険に関する市内事業者等説明会」、「地域密着型サービス事業所連絡会議」、「居宅介護支援事業者連絡会議」をそれぞれ開催し、市内介護サービス事業者等との連携を図ります。		

【取り組みの実施状況】

高齢者在宅福祉サービスや介護保険サービスに関する情報を、市の広報誌やホームページに掲載しました。

また、高齢者在宅福祉サービスや介護保険のパンフレット、介護保険事業所を掲載したガイドブックを改訂し、窓口での相談に使用しました。また、市内4か所の地域包括支援センターや駅前出張所、社会福祉協議会に配架したほか、介護保険に関する市内事業者等説明会で配布しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				窓口での相談や出前講座、地域包括支援センターが訪問した際にパンフレット等を配布したほか、介護保険に関する市内事業者等説明会で配布し、幅広く情報提供を行ったため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も、市の広報誌やホームページ、説明会等で情報提供を行うとともに、更に活用しやすいパンフレットやガイドブックとなるよう見直します。

介護保険について情報が必要な方に、速やかに情報提供する方法について更なる検討が必要です。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	3	介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	94
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取り組み	(2)	介護サービス相談員の派遣		
	取り組みの方向性		介護サービス相談員は、介護施設や居宅介護サービス事業者等を訪問し、利用者等の話を聞き相談に応じることで、疑問や不安の解消を図るとともに、介護サービスの実態を把握し、質の向上を図るため、派遣活動を実施します。		

【取り組みの実施状況】

令和5年度は、介護保険施設や通所介護事業所など市内40か所の事業所に、延べ311回訪問しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により面会を中止しているため、訪問できない事業所がありました。

派遣時においては、利用者から「食事が合わない」、「自宅に戻りたい」などの相談があり、介護サービス相談員が傾聴し、その内容を事業所の職員へ伝えました。事業所で改善できるところは改善してもらい、利用者と事業所の橋渡しをすることで、サービスの質的向上を図りました。

市内43か所のうち40か所の事業所で介護サービス相談員の受入れが承諾されています。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				市内ほぼすべての事業所に受入れが承諾されており、各事業所おおむね月に1回のサイクルで相談業務を実施することができているため。

【取り組みの課題】

新規事業所や新型コロナウイルス感染症の影響により訪問再開ができていない事業所があること。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 引き続き介護保険施設や居宅介護サービス事業者等に派遣を行うことで、介護サービスの実態を把握し、サービスの質の向上を図ります。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	3	介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	94
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の促進		
	主な取り組み	(3)	介護離職防止の促進		
	取り組みの方向性		家族を介護するために離職しなければならないことが社会問題となっているため、国が目指す「介護離職ゼロ」の実現、介護離職防止に向けた取組の啓発を促進します。 また、「ケアラー」が個人として尊重され健康で文化的な生活を営むことができるよう、令和2年3月に「埼玉県ケアラー支援条例」が制定されました。 市では、ケアラーが孤立することのないよう、社会全体で支えていくため、家族介護者支援員を配置し、地域包括支援センターを中心とした支援体制を整備します。 さらに、家族等の介護状態に直面し、今後の介護と自分の生活に不安を感じている方などを対象に、「家族介護教室」を年4回実施します。		

【取り組みの実施状況】

各地域包括支援センターの主任介護支援専門員を中心に家族介護教室を企画し、仕事と介護を両立するために利用できる制度の案内や、介護専門職によるおむつ介助の技術講習、管理栄養士による高齢者の食形態の講話等を行ないました。

参加者からは、「今日聞いたことは将来役に立つ。技術、制度などの理解が深められた。」「介護技術の実践や高齢者疑似体験など、大変勉強になった。」という声がありました。

日程	担当包括	会場	参加人数
7月8日	東部地域包括支援センター やしお苑	八潮メセナ	13人
9月9日	西部地域包括支援センター ケアセンター八潮	やしお生涯楽習館	14人
12月23日	南部地域包括支援センター 埼玉回生病院	やしお生涯楽習館	19人
3月23日	北部地域包括支援センター やしお寿苑	八潮市役所多目的室	15人
開催合計		4回	61人

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）				予定どおり教室を実施することができた。介護の実技講習等が充実して行えたため。
概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）				
遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				

【取り組みの課題】

家族介護教室の開催により、仕事と介護を両立するための制度等について情報を求めている方に必要な情報を提供できましたが、参加者を増やす取組が必要です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

仕事と介護の両立やこれからの介護に不安を感じている方により多く参加いただけるよう、教室の周知方法について検討します。

今後、家族を介護する労働者だけではなく、雇用主にも介護離職防止に向けた取組の啓発と周知ができるよう、関係機関と検討します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護支援係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	3	介護保険サービスの充実にに向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	95
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取り組み	(4)	介護給付等の適正化 ①要介護認定の適正化		
	取り組みの方向性	認定調査結果の点検や認定審査会の合議体（4合議体）間の格差是正の取組を通じて、公平かつ適切な要介護認定に努めます。 また、市の要介護認定調査員の確保に努め、質の向上のための研修を実施します。			

【取り組みの実施状況】

要介護・要支援認定調査が柔軟に対応できるよう、全調査のうち94.4%を市の要介護認定調査員が調査を行いました。

また、公平かつ適切な要介護認定に努めるため、市の要介護認定調査員の研修を実施し、認定審査会委員向けの研修を案内し、共通認識の確認をしました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）				不服申し立てがなく、公平かつ適切な要介護認定の確保が図れているため。
概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）				
遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				

【取り組みの課題】

安定した要介護認定調査員の確保に向けた対策を検討する必要があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も要介護認定の適正化として、本市の要介護認定調査員の確保に努め、かつ質の向上のための研修を行います。

また、認定調査結果の点検や認定審査会の合議体間の格差是正の取組を通じ、公平かつ適切な要介護認定の確保を図ります。

さらに、安定した要介護認定業務が実施できるよう、要介護認定調査員の確保に向けた対策を検討します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護給付係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	3	介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	95
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取り組み	(4)	介護給付等の適正化 ②ケアマネジメントの適正化		
	取り組みの方向性		a 利用者の自立支援に資するケアプランの作成に向けて、市内の居宅介護支援事業所を対象に、ケアプランの点検および支援を行うとともに、自立支援型地域ケア会議を活用することにより、個々の利用者が真に必要なサービスの確保を図ります。 b 申請書類による書面審査を実施するとともに、施工前後において疑義が生じた場合は、関係者へのヒアリング等により利用者の状態や施工状況を確認することで、利用者の自立支援に資する住宅改修を実施します。 c 福祉用具の利用について、自立支援型地域ケア会議を活用し、利用者の身体状況に応じた適切な貸与等を実施します。 d 年1回、サービス利用実績を利用者に通知することにより、利用者の視点から介護給付の透明性を確保し、介護サービスの適切な利用と提供を促進します。		

【取り組みの実施状況】

市内居宅介護支援事業所事業所3か所に対し計7件、地域密着型サービスである市内認知症対応型共同生活介護事業所3か所に対し計6件、また、新規に地域密着型サービスの市内小規模多機能型居宅介護事業所2か所に対し計2件、合計15件のケアプラン提出を依頼し、それぞれ利用者の自立支援に資するケアプランが作成されていることを確認しました。

住宅改修の点検については、効果の疑義があった手すり取付け工事に対し、令和5年12月に実地調査を1件実施し、改修工事が利用者の在宅生活に必要なことを確認しました。

福祉用具の利用については、軽度者への（特定）福祉用具の貸与や購入についてケアプラン等を全件点検し、適正にケアプランが作成されていることを確認しました。

また、令和5年9月に、利用者へ3か月分の給付実績を記載した介護給付費通知書を送付し、介護サービス事業所での領収書と照合し適正な給付の確認をするよう促しました。（令和5年4月～6月利用分について対象者2,481人に送付）

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				各事業所のケアプランを確認することで介護給付等の適正化に資することができたため。

【取り組みの課題】

住宅改修の点検については、申請書類による確認のみではなく、ケースによっては現地調査をする必要がありますが、申請書類に疑義がないケースが大半のため、対象者の抽出方法が課題となっています。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も、ケアプラン点検やサービス利用実績を利用者へ通知することで、給付の適正化を図ります。
なお、住宅改修については、現地確認が必要なケースや調査を行う方法等について検討を行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護給付係
-----	-------	-----	-------

現 行 計 画	基本目標	3	介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	95
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取り組み	(4)	介護給付等の適正化（任意事業） ③縦覧点検・医療情報との突合による適正化		
	取り組みの方向性		国民健康保険団体連合会の「介護給付適正化システム」を有効活用して、提供されたサービスの整合性等の点検を継続的に行い、請求内容の誤りや医療と介護の重複請求の是正に取り組めます。		

【取り組みの実施状況】

介護報酬請求に係る縦覧点検について、国民健康保険団体連合会へ委託し、請求誤りの可能性がある事業所について随時ケアプランを点検し、誤りがあるものについては、事業所へ過誤依頼を行うことで給付の適正を確認しました。

また、国保年金課保険給付係と連携し、介護報酬請求を被保険者の医療情報と突合することで、医療と介護の重複請求の確認をしました。

なお、令和5年9月に、利用者へ3か月分の給付実績を記載した介護給付費通知を送付し、介護サービス事業所での領収書と照合し適正な給付の確認をするよう促しました。（令和5年4月～6月利用分について対象者2,481人に送付）

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				提供されたサービスの整合性等の点検を継続的に行い、請求内容の誤りや医療と介護の重複請求の是正ができたため。

【取り組みの課題】

更なる給付の適正化のため、今後、国民健康保健連合会の適正化システムによる縦覧点検・医療情報との突合以外での活用が課題となっています。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
【今後の対応】 国民健康保健団体連合会の適正化システムから出力される給付実績に基づく帳票を活用して、更なる適正化に取り組めます。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	介護給付係
-----	-------	-----	-------

現行計画	基本目標	3	介護保険サービスの充実にに向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	95
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取り組み	(5)	介護保険サービス利用者負担補助事業		
	取り組みの方向性	要介護等認定者または事業対象者で、市民税世帯非課税者に対して、居宅サービス等を利用した場合の自己負担額の一部を補助することにより、経済的負担の軽減を図ります。			

【取り組みの実施状況】

要介護等認定を受けている低所得者の被保険者に対して、市独自の制度である八潮市介護保険サービス利用者負担補助制度を利用することで、自己負担額の一部を補助することにより経済的な負担軽減を図るもので、令和5年度は3,591人に対し12,780,969円支給しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				居宅介護サービス等を利用している低所得者に対し、自己負担額への負担軽減が図れたため。

【取り組みの課題】

介護保険サービス利用者負担補助金は、利用者が増加した場合、比例して補助額も増加する可能性があるため、補助金の持続可能性について財政面で課題があります。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

介護保険サービス利用者負担補助金は、要介護または要支援の認定を受けている低所得の被保険者に対し、居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、地域密着型介護予防サービスに要した費用の一部を補助することにより、経済的負担の軽減を図っています。今後も当該事業の需要を鑑みながら確実に実施します。

また、社会福祉法人等利用者負担軽減補助金については今後も制度の周知を図ります。

【財 源】一般会計（市が全額負担）

【対象者】(1)八潮市の被保険者であること (2) 市民税世帯非課税者であること (3)生活保護受給者でないこと
(4)介護保険料を滞納していないこと

【補助率】自己負担額の1/5（市民税世帯非課税者の自己負担限度額：24,600円）

【対象となるサービス（介護予防サービス含む）】

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、福祉用具貸与、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護、認知症対応型共同生活介護、介護予防・生活支援サービス

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	3	介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	105
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取り組み	(7)	施設サービス ①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）		
	取り組みの方向性	介護老人福祉施設の利用者数は、平成30年度から令和元年度にかけて概ね横ばいですが、令和2年4月1日現在の待機者は、145人となっています。 現在、市内に3か所（300床）が整備されていますが、待機者の現状や将来の高齢者人口の増加に対応するため、第8期計画期間中に新たに1か所（100床）の整備を見込みます。			

【取り組みの実施状況】

市内には、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が3か所整備されています。
入居定員は300人で、令和5年度末の入居者数は297人となっています。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の期間中に、新たに1か所の整備が進行しているため。

【取り組みの課題】

令和5年4月1日現在で、特別養護老人ホームの入所待機者が125名発生していること。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

令和6年度中に新たに1か所の特別養護老人ホームが開所（110床）する予定となっていることから、今後の待機者数の推移を注視し、必要に応じて介護老人福祉施設の整備を推進していきます。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

現行計画	基本目標	3	介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	107
	施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
	主な取り組み	(8)	地域密着型サービス ②小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護		
	取り組みの方向性		小規模多機能型居宅介護の利用者数は、平成30年度から令和元年度にかけて増加しています。介護予防小規模多機能型居宅介護は、近年の利用実績がほとんどありません。 現在、市内東部圏域に1か所（登録定員29人）、南部圏域に1か所（登録定員29人）の計2か所（登録定員58人）が整備されており、第8期計画期間中においては、西部圏域に1か所、北部圏域に1か所の計2か所の整備を見込みます。		

上段：目標値、下段：実績値

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小規模多機能型居宅介護設置数（か所）	1	2	3	4	4
	2	2	2	2	2

【取り組みの実施状況】

市内には、小規模多機能型居宅介護が2か所整備されています。

登録定員の合計は58人で、令和5年度末の登録者数は58人となっています。

評価	☐ 順調	☐ 概ね順調	☒ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				引き続き令和5年度に事業者を募集したが、応募がなかったため。
【取り組みの課題】 小規模多機能型居宅介護を整備する事業者を募集しましたが、応募がありませんでした。				

今後の方向性	☒ 現状のまま継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
【今後の対応】 今後のニーズに対応するため、第9期八潮市高齢者保健福祉推進計画・介護保険事業計画においても2か所の整備を見込んでおり、引き続き事業者を募集します。					

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係
-----	-------	-----	--------

基本目標

3

介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～

ページ

110

施策の展開

1

介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進

主な取り組み

(9)

基盤整備の推進

日常生活圏域別介護施設等整備状況及び第8期計画における整備計画は、以下のとおりです。

① 日常生活圏域別介護施設等整備状況

日常生活圏域別 介護施設等施設数

	東部圏域		西部圏域		南部圏域		北部圏域		合計	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
介護老人福祉施設	1	80			1	120	1	100	3	300
介護老人保健施設							1	150	1	150
軽費老人ホーム							1	50	1	50
介護付き有料老人ホーム	3	189			2	96	1	39	6	324
サービス付き高齢者向け住宅					1	27			1	27
合計	4	269	0	0	4	243	4	339	12	851

(令和2年10月1日現在)

日常生活圏域別 地域密着型サービス事業所数

	東部圏域		西部圏域		南部圏域		北部圏域		合計	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
地域密着型通所介護	2	20	1	18			1	10	4	48
小規模多機能型居宅介護	1	29			1	29			2	58
認知症対応型共同生活介護	1	18	2	36	1	18	1	27	5	99
合計	4	67	3	54	2	47	2	37	11	205

(令和2年10月1日現在)

第8期計画における整備計画

	整備実績		令和3年度		令和4年度		令和5年度		累計	
	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員
介護老人福祉施設	3	300					1	100	4	400
小規模多機能型居宅介護	2	58			2	58			4	116
合計	5	358	0	0	2	58	1	100	8	516

小規模多機能型居宅介護が介護老人福祉施設と併設する場合は、整備年度を変更する場合があります。

現行計画

取り組みの方向性

【取り組みの実施状況】

市内には、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が3か所整備されています。

入居定員は300人で、令和5年度末の入居者数は297人となっています。

市内には、小規模多機能型居宅介護が2か所整備されています。

登録定員の合計は58人で、令和5年度末の登録者数は58人となっています。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				介護老人福祉施設の整備は進行しているが、小規模多機能型居宅介護の整備については、令和4年度に事業者を募集したが、応募がなかったため。

【取り組みの課題】

小規模多機能型居宅介護を整備する事業者を通年で募集しましたが、応募がありませんでした。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

小規模多機能型居宅介護については、今後のニーズに対応するため、第9期八潮市高齢者保健福祉推進計画・介護保険事業計画においても2か所の整備を見込んでおり、引き続き事業者を募集します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係、介護支援係
-----	-------	-----	--------------

現行計画

基本目標	3	介護保険サービスの充実に向けた取組 ～介護が必要になったら～	ページ	112
施策の展開	1	介護保険事業の円滑な実施と基盤整備の推進		
主な取り組み	(10)	感染症対策と災害時対応		
取り組みの方向性	市内介護サービス事業者等へ新型コロナウイルス感染症などの感染症対策や災害時の対応等について、国や県からの情報を速やかに提供するとともに、国が作成した「介護現場における感染対策の手引き」、「介護職員のための感染対策マニュアル」、「要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き」などを遵守するよう指導します。 市内介護サービス事業者等においては、感染症対策の自主点検を徹底するとともに、感染者や濃厚接触者が発生した場合を想定した対応訓練を実施するよう指導し、感染症対策の強化を促進します。 また、要介護認定の申請手続きについては、新型コロナウイルス感染症などの拡大防止の観点から、窓口の他に電話相談や郵送申請での対応を実施します。利用にあたっては、利用者やその家族が安心してサービスを受けることができるよう、市内介護サービス事業者等への感染症対策の支援を実施します。			

【取り組みの実施状況】

市内介護サービス事業者等へ国や県からの情報を周知し、新型コロナウイルス感染症や災害時の対応等について情報提供しました。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、厚生労働省が定めるマニュアルに該当する場合のみ報告を求める旨、通知をしました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				事業者等に対し、適宜必要な情報を周知することができたため。

【取り組みの課題】

特にありません。

今後の方向性	■現状のまま 継続	□休止・廃止	□終了・完了	□見直して継続	□他事業と統合 して継続
--------	--------------	--------	--------	---------	-----------------

【今後の対応】

今後も、事業者等に対し、必要な情報について速やかな周知に努めます。また、引き続き、感染症対策や災害時の対応について、マニュアルを遵守するように周知します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	4	住み慣れたところで尊厳ある終末期を迎えるための取組 ～いつまでも自分らしく～	ページ	116
	施策の展開	1	在宅医療・介護の連携		
	主な取り組み	(1)	在宅医療・介護連携事業 ①現状分析・課題抽出と施策立案		
	取り組みの方向性		a 地域の医療・介護資源の把握 地域の医療機関、介護サービス事業者等の機能等の把握およびリスト化をし、医療・介護関係者との情報の共有に努めます。 b 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 地域の医療・介護関係者等が参画する「在宅医療・介護連携推進会議」を開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、在宅介護・看護、医療の体制の整備について検討します。 c 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、在宅医療と在宅介護が切れ目なく一体的に提供される体制の構築・強化に向けて検討します。		

【取り組みの実施状況】

草加八潮医師会 在宅医療サポートセンターに業務委託し、草加市や在宅医療サポートセンターと打ち合わせを重ねて事業を実施しました。

- a 医療機関等へ照会し、「事業者向け在宅医療・介護資源リスト」の更新を行いました。
- b 医師、歯科医師、薬剤師、介護サービス事業者、訪問看護師、介護支援専門員連絡会、医療機関相談員、地域包括支援センター、保健所、在宅医療サポートセンターを構成員として、在宅医療・介護連携推進会議を年3回開催し、コロナ禍での在宅医療・介護支援の課題や情報共有ツール作成についての検討を行いました。
- c 在宅医療サポートセンターが中心となり、在宅医療と在宅介護が切れ目なく一体的に提供される体制の構築に向けて、入退院支援ルールを作成を行いました。また、新規・既存の在宅診療医を訪問し、現状や課題についてのヒアリングを実施しました。

評価	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				在宅医療サポートセンターや草加市と打合せを重ね、各事業を計画的に行うことができたため。

【取り組みの課題】

地域の医療・介護関係者等が参画する在宅医療・介護連携推進会議を継続して開催することで、医療・介護関係者の連携が徐々に進んできてはいますが、課題の抽出や対応策の検討を引き続き行う必要があります。

今後の方向性	☒ 現状のまま継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------

【今後の対応】

- a 「事業所向け在宅医療・介護資源リスト」の改定を行い、活用しやすいものとなるよう努めます。
- b 引き続き、在宅医療・介護連携における現状や課題について、多職種で情報共有し課題に向けた検討を進めるため、在宅医療・介護連携推進会議を年3回開催します。
- c 引き続き、在宅診療医の訪問や入退院支援ルールの見直しを行います。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	-----------

現行計画	基本目標	4	住み慣れたところで尊厳ある終末期を迎えるための取組 ～いつまでも自分らしく～	ページ	116
	施策の展開	1	在宅医療・介護の連携		
	主な取り組み	(1)	在宅医療・介護連携事業 ②対応策の実施		
	取り組みの方向性		a 地域の医療・介護連携に関する相談支援 草加八潮医師会に設置された「在宅医療サポートセンター」を、在宅医療・介護連携を支援する相談窓口とし、医療・介護関係者、一般市民・家族からの相談対応や在宅医療が必要な方への適切な支援、地域包括支援センターとの連携等を図ります。 b 地域住民への普及啓発 在宅で医療が必要となった時、必要なサービスを適切に選択できるよう、在宅医療や介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、普及啓発を実施します。 c 医療・介護関係者の情報共有の支援 地域の医療・介護関係者の情報共有を支援するため、「ICT」の活用や、入退院支援ルールを策定するなど、情報共有ツールの整備を進めます。 d 医療・介護関係者の研修 地域の医療・介護関係者の連携を図るため、多職種によるグループワークや事例検討の研修を実施します。また、地域の医療関係者に介護に関する研修、介護関係者に医療に関する研修を実施し、相互の理解を図ります。		

【取り組みの実施状況】

草加八潮医師会 在宅医療サポートセンターに業務委託し、草加市や在宅医療サポートセンターと打ち合わせを重ねて事業を実施しました。

- a 在宅医療サポートセンターを相談窓口として、本人・家族、医療・介護関係者等からの相談に対応し、相談件数は34件でした。
- b 12月12日に市民に対して、講演会「緩和ケアってなあに？」を、八潮中央総合病院藤城儀幸氏を講師に開催し、50人が参加しました。
- c 在宅医療サポートセンターがICTを活用した情報共有ツールである、MCS（メディカルケアステーション）活用の相談窓口となり、相談対応や登録作業、研修会による啓発活動を行い、登録者は90名でした。
また、草加・八潮医師会単位での入退院支援ルールの作成に関する検討を行いました。
- d 8月23日に地域の医療・介護関係者に対して、研修会「防災・災害時対応についてみんなで考えよう～令和5年6月2日・台風2号の被害を振り返って～」を八潮市危機管理防災課と八潮市薬剤師会 玉岡みはる氏を講師に開催し、39人が参加しました。

評価	■順調	□概ね順調	□遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				在宅医療サポートセンターや草加市と打合せを重ね、各事業を計画的に行うことができたため。

【取り組みの課題】

在宅医療と介護に関して、在宅医療サポートセンターが相談窓口であることを十分に周知できていないことや、医療職と介護職の相互理解をより深められるような事業内容について検討が必要です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

a 在宅医療サポートセンターを相談窓口として、本人・家族、医療・介護関係者等からの相談対応や、在宅医療が必要な方に対して適切な支援を行えるよう周知します。

b 市民向け講演会の検討や、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発を行います。

c ICT(MCS メディカルケアステーション)の登録者の増加や活用のため、在宅医療サポートセンターによる普及啓発や研修会等を実施します。また、草加・八潮医師会単位での入退院支援ルールを作成し、活用に向けた説明会等を実施します。

d 医療・介護関係者向けの研修会により多くの職種が参加できるよう、在宅医療サポートセンターと検討し実施します。

第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 評価シート

担当課	長寿介護課	記入者	高齢者政策係、地域包括ケア推進係
-----	-------	-----	------------------

現行計画	基本目標	4	住み慣れたところで尊厳ある終末期を迎えるための取組 ～いつまでも自分らしく～	ページ	117
	施策の展開	1	在宅医療・介護の連携		
	主な取り組み	(2)	看取りに向けた支援		
	取り組みの方向性		地域住民が在宅介護、ターミナルケアのあり方、在宅での看取りについて理解することは、適切で継続的な医療を提供するためにも重要であることから、講演会の開催やパンフレットの作成・配布等を実施します。 また、高齢者が終末期にどのような意向を持っているのか、家族で話し合うきっかけとして、「私と家族の安心ノート（エンディングノート）」を配付し、活用を支援します。 介護施設等では、本人や家族の意向を汲みながら終末期に寄り添える介護職員の育成が課題となっているため、研修会への参加を促進するとともに、市内介護施設等の看取り体制の一層の強化に取り組みます。		

【取り組みの実施状況】

市民向けの啓発として、12月12日に講演会「緩和ケアってなあに？」を、八潮中央総合病院藤城儀幸氏を講師に開催し、50人が参加しました。また、私と家族の安心ノート（エンディングノート）を56人に配布し、平成30年度から累計で519人に配布しています。

市内には、介護老人福祉施設が3か所、介護老人保健施設が1か所、介護付き有料老人ホームが7か所、グループホームが5か所、軽費老人ホームが1か所、サービス付き高齢者向け住宅が2か所の合計19か所が整備されており、看取り実施施設は、令和5年度末日時点で18か所です。看取りを実施したことのない施設はありませんが、嘱託医が施設の急な呼び出しに応じることが困難である施設で看取りができなくなっています。令和5年度末日時点で看取りができなくなった施設は、おおぜの郷の1か所です。

令和5年4月から令和6年3月末日までに、施設で看取りを行った人数は、介護老人福祉施設42人、介護老人保健施設6人、介護付き有料老人ホーム29人、グループホーム6人、サービス付き高齢者向け住宅20人の合計103人です。

評価	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 遅れ	判断理由
順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） 概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調） 遅れ（このままでは最終目標の達成が難しい）				嘱託医や職員体制の状況により、看取りができなくなった施設があるため。

【取り組みの課題】

看取りに対して不安を抱いている看取り未経験の介護職員に対して研修等を実施し、市内全施設で看取り実施体制を整えることが課題です。

今後の方向性	☒ 現状のまま 継続	☐ 休止・廃止	☐ 終了・完了	☐ 見直して継続	☐ 他事業と統合 して継続
--------	---	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---

【今後の対応】

介護保険施設等職員の看取りケアの体制強化のため、引き続き埼玉県で実施している看取り研修の案内等、情報提供します。

今後も「私と家族の安心ノート（エンディングノート）」について、多くの方に利用していただけるよう、市広報紙やホームページ、講演会等で周知します。また、「私と家族の安心ノート（エンディングノート）」の利用者に対し、終末期に関する市民向け講演会の案内と併せてノートの内容見直しを促す通知を送付します。